SHARP®

インテリアホン
取扱説明書

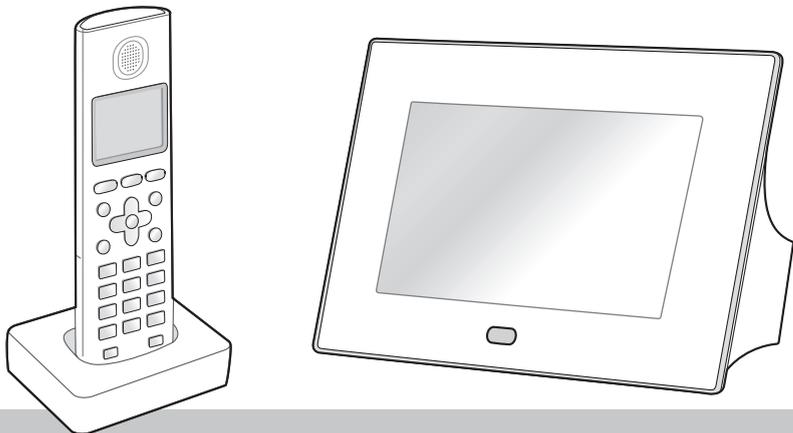
形　名

ジェイディー　シー　シー エル
JD-7C1CL（子機 1台タイプ）

ジェイディー　シー　シー ダブル
JD-7C1CW（子機 2台タイプ）

ND ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

※NTTへのサービス申し込みが必要です（有料）。

ナンバー・ディスプレイサービスの
お問い合わせは
局番なしの116番へ

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」（☞4～7ページ）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

もくじ

ご参考に

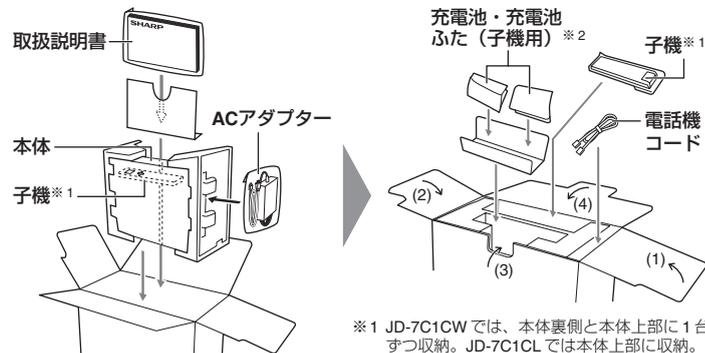
お調べになりたい内容が、もくじから探しにくいときは、さくいん（☞107～110ページ）をご覧になると見つかる場合があります。

＜お知らせ＞

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、シャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気･電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記録内容が変化・消失する場合があります。

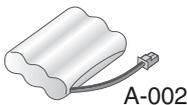
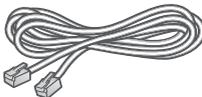
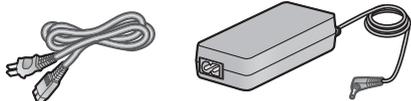
贈答用などで、あらかじめ「写真」や「電話帳」を登録してプレゼントするときは

本体にあらかじめ「写真」や「電話帳」を登録してプレゼントすると、プレゼントを受けた方はフォト電話帳を使ってかんたんに電話をしたり（☞34ページ）、写真をフォトスライド（☞42ページ）で楽しむことができます。

「写真」や「電話帳」の登録手順は以下をご覧ください：
①本体を取り出し、ACアダプターを接続する（☞15ページ）
（電話回線は接続しないでください）
②タッチパネルの確認をする（☞16ページ）
③ホームメニューが表示されるまで、画面（本体）を操作する
④電話帳を登録する（☞24ページ）
フォト電話帳に登録する（☞26ページ）
⑤フォトスライド用の写真を内部メモリーへ保存する（☞47～48ページ）
⑥設定リセットをする（☞97ページ）
⑦本体を元の通りに梱包する

※1 JD-7C1CWでは、本体裏側と本体上部に1台ずつ収納。JD-7C1CLでは本体上部に収納。
※2 JD-7C1CLでは1セット。

付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合や違うものが入っているときは、シャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）にご連絡ください。

本体１台	子機 JD-7C1CL：１台 JD-7C1CW：２台	充電器（子機用） JD-7C1CL：１個 JD-7C1CW：２個
充電池ふた（子機用） JD-7C1CL：１個 JD-7C1CW：２個	充電池（子機用） JD-7C1CL：１個 JD-7C1CW：２個 A-002	電話機コード （約1.5m）１本
ACアダプター １式		
● メモリーカードは付属していませんので、ご使用になるときは別途お買い求めください（☞49ページ）。		
取扱説明書（本書）※１冊		

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠ **危険**	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、充電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

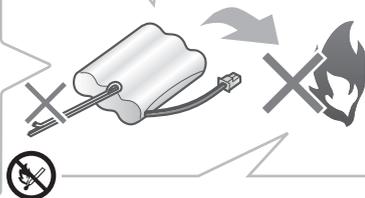
■充電池をネックレス・ヘアピンなど金属のものと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。

■充電池の端子は⊕⊖を逆にして接続しないでください。

■充電池は、専用のものを使用してください。

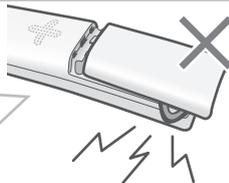
■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

失明のおそれがあります。

■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

■充電池は、子機以外の機器には使用しないでください。

■充電するときは、専用の充電器以外では使用しないでください。

■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

⚠ 警告

■浴室など、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。

絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

■ **水や薬品などの液体をこぼさないでください。ペットのいるご家庭では、ペットの尿にもご注意ください。**

火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグを抜いてシャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）へご相談ください。

■病院内などの使用を禁止された場所ではご使用にならないでください。

電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

■ **内部に金属物を入れないでください。**

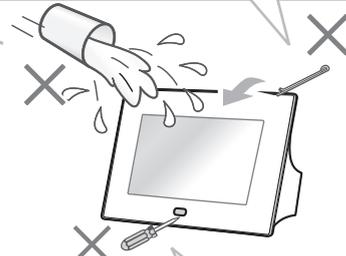
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグを抜いてシャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）へご相談ください。

■ **万一、内部に水や異物などが入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜き、子機の充電池を外してシャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）にご連絡ください。**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ **ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。**

火災・感電の原因になります。修理はシャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）へご相談ください。

⚠警告

■充電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
皮膚に障害を起こすことがあります。

■充電池のビニールカバーを、はがしたり、傷を付けないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

■充電池を水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
充電池が発熱したり、サビの原因となります。

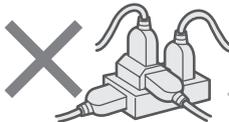
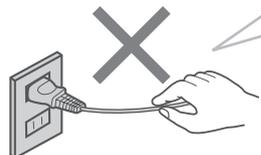
■差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。
感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■差し込みプラグを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。
感電の原因になります。

■この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流 100V）に接続してください。
海外や交流 100V 以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

交流 100V

■ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

■ ACアダプターやACコード､差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。
次のようなことはしないでください。
・傷つける　・無理に曲げる
・加工する　・無理にねじる
・熱器具に近づける　・重いものを載せる
・無理に引っぱる　・束ねる
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。ACアダプターやACコード、差し込みプラグの修理は、シャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）へご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■メモリーカードやメモリーカードのアダプターは乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込むおそれがあります。
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

■ この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。
けが・故障の原因になります。
万一、この製品を落としたり、破損した場合はシャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

■ 雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
火災・感電・故障の原因になります。

■ 煙･異臭･異音が出たり､落下･破損したりした場合は使用を中止してください。
火災・感電の原因になります。差し込みプラグを抜いてシャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）へご相談ください。

⚠注意

■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■充電器を布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ホコリの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■充電器の上に、コインなどの金属を置かないでください。
やけど、けがの原因になることがあります。

■充電器から磁力線が出ていますので、磁気に弱いもの（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。
磁気に弱いものは使えなくなることがあります。

■本機の温度の高い部分に長時間触れないようにご注意ください。
低温やけどの原因になることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■暑い場所や直接日光のあたるところ、暖房機の近くには置かないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■高級家具やピアノなどの上に置かないでください。
ゴム足の形が付くことがあります。

■すべりやすい場所に置かないでください。
操作中に本体が移動することがあります。

■充電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

■メモリーカードスロットカバーや充電池ふたを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。
けがの原因になることがあります。

■火気や熱器具に近づけないでください。
変形や故障、火災の原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて（熱くなるものは冷えてから）行ってください。
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

■ ACアダプター、ACコードについてのご注意

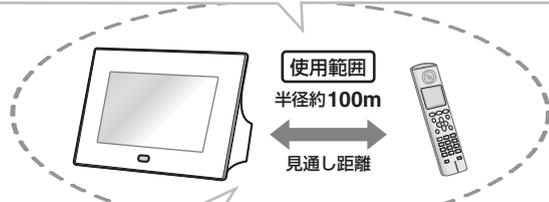
必ず付属のACアダプター（JEITA規格、極性統一形プラグ付）およびACコードをお使いください。付属品以外のACアダプターやACコードをお使いになると故障する原因となることがあります。

・室内専用です。
・本体へ、ACアダプターの接続プラグをしっかり差し込んでください。
・ACアダプターやACコードは、本製品以外には使用しないでください。
・付属のACコードは付属のACアダプター専用です。付属のACコードは付属のACアダプター以外には使用しないでください。
・本体からACアダプターのコードを抜くときは、接続プラグを持って抜いてください（コードを引っぱらないでください）。
・使用中、ACアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
・分解したりしないでください。危険です。
・高温多湿の所では使用しないでください。
・落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
・内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ご使用の前に知っていただきたいこと

本機の取り扱いについて

■本体と子機の間に障害物のある場所で使わない

本体と子機の間に障害物（金属製のドア、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラス、断熱材など）があると、電波を通しにくくなるため、電波の届く距離が短くなることがあります。

■子機の使用範囲を確かめる

電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100ｍです。
本体と子機を別の階や別棟に設置したときは、子機の電話がつながりにくくなったり、通話中の雑音やとぎれの原因になることがあります。

■本機を設置するときは

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。**電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、本体・子機とも約３ｍ以上離してください。**

●電子レンジ ●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
●ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
●ゲーム機のワイヤレスコントローラー
●万引き防止システム（書店やCDショップなど）
●アマチュア無線局 ●工場や倉庫などの物流管理システム
●鉄道車両や緊急車両の識別システム ●マイクロ波治療器
●2.4GHzコードレス電話機

その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

また、同じ室内に複数台の2.4GHzコードレス電話機を設置しないでください。電波干渉によって、子機の通話に雑音が入ったり、通話中に音声がとぎれたりすることがあります。

■子機はいつも充電器に戻しておく

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■子機の電波について

子機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です

移動体識別装置の帯域が回避できません。
変調方式：FH-SS方式 与干渉距離：80m
本機には、それを示すマークが貼付されています。

2.4FH8

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●アマチュア無線局（免許を要する無線局）

・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

■“傍受”にご注意ください

本機は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

■受話口やスピーカーの穴をふさがない

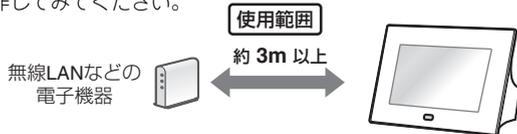
受話口や本体や子機のスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■電波雑音にご注意ください

テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに本機を設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに本機を設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の着信音が鳴らないことがあります。

これらの機器からは3m以上離すか、本体を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。

■子機に雑音が入ることがあります

●磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声がとぎれたり、通話できなくなることがあります。
●本機の近くに、ACアダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声がとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
●本機の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと、声がとぎれたり着信音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、本体や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
●動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声がとぎれたり雑音が入ることがあります。設置場所を変えてみてください。
●補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

■取り扱いについて

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。

■使用中に温かくなることがあります

本体の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなることがありますが、故障ではありません。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

■タッチパネルの取り扱いについて

本体の液晶ディスプレイはタッチパネルになっています。以下の内容を守ってお使いください。
●先端のとがったものや硬いもの、爪で操作しないでください。傷が付くことがあります。操作するときは、指で触れてください。
●強く押さえないでください。破損することがあります。
●指紋などが付いたときは、眼鏡ふきなどの乾いた柔らかい布で清掃してください。傷が付くことがありますので、お手入れに目の粗い布は使用しないでください。

■ ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、
「機器使用料」は、不要 となります。
詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

■ この装置について

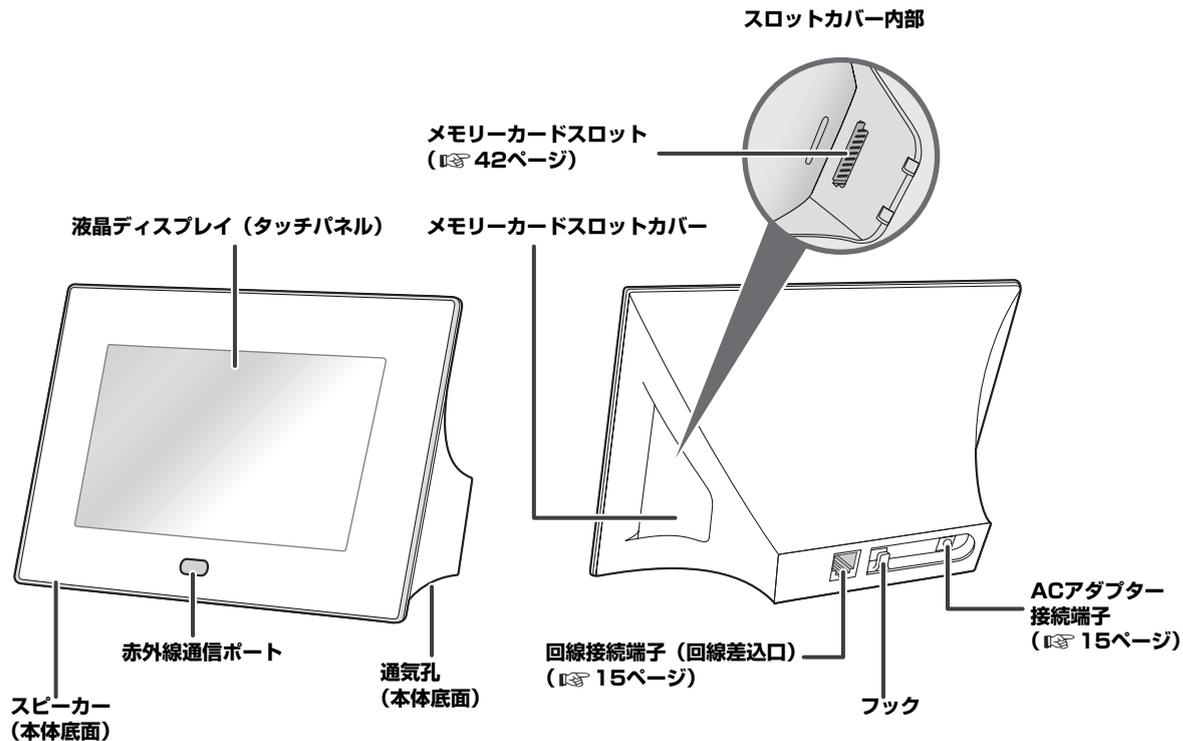
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

■ 商標について

●SDメモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
●miniSD™、microSD™はSDアソシエーションの商標です。
●メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
●IrSS™ は Infrared Data Association® の商標です。
●当製品には、イーソル株式会社のリアルタイムOS「PrKERNELv4」およびファイルシステム「PrFILE2」が搭載されています。また、ソフトウェアは同社製開発環境「eBinder」を使用して開発されました。
●本商品にはシャープ株式会社が液晶ディスプレイで読みやすくなるように設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。

●その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

本体各部のなまえ

スロットカバー内部
メモリーカードスロット
（☞ 42ページ）
液晶ディスプレイ（タッチパネル）
メモリーカードスロットカバー
ACアダプター
接続端子
（☞ 15ページ）
赤外線通信ポート
通気孔
（本体底面）
回線接続端子（回線差込口）
（☞ 15ページ）
スピーカー
（本体底面）
フック

子機各部のなまえ

 マルチファンクションキー／

 （メニュー／決定）ボタン

・項目の選択、決定など

	上を押す ・各種音量の変更（☞57～58ページ）
	下を押す ・各種音量の変更（☞57～58ページ）
	左を押す ・再ダイヤル（☞23ページ） ・待ち時間（ポーズ）の入力（☞27ページ）
	右を押す ・着信記録（☞78ページ）
	メニュー／決定ボタンを押す ・選択した項目の決定 ・機能メニューの呼び出し ・ファクスの送受信（☞50、54ページ） ・通話中の録音再生 ・迷惑電話拒否機能（☞60～61ページ）

マルチファンクションキーは、本書では上記のように略図で示しています。
上下いずれかを押すときは 、

左右いずれかを押すときは と示しています。

 （通話）ボタン

・電話をかける・受ける（☞22～23ページ）

 （電話帳）ボタン

・電話帳を使う（☞32ページ）

ワンタッチボタン

・ワンタッチダイヤルを使う（☞36ページ）

スピーカー（受話口）

液晶ディスプレイ（☞ 12ページ）

キャッチ／文字切替ボタン

・文字切替（☞29、31ページ）
・キャッチホン（☞72ページ）

 （切）ボタン

操作を途中でやめます。
・通話の終了
・登録メニューの終了

ダイヤルボタン

・電話をかける　　・文字入力など
ダイヤルボタンには、電話を着信したとき、充電器から取ったときなどに点灯するダイヤルライトが付いています。

＊ トーン	・プッシュホンを利用する（☞22ページ）
＃ 🔒	・キーロック（☞71ページ）

保留／内線／消去ボタン

・保留（☞22ページ）
・内線通話（☞62ページ）
・文字消去（☞29ページ）

マイク（送話口）

スピーカーホン／発信ボタン

・スピーカーホン通話（☞22ページ）
・受話通話（☞22ページ）

※ 本書では、子機のダイヤルボタンを【1】のように表記しています。

液晶ディスプレイ

[表示部]（バックライト付）

※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

ディスプレイ

日時や電話番号、子機番号や使用者名（設定したときのみ）、通話時間などを表示します。

2 留守

留守番電話に設定しているときに表示します（☞38～39ページ）。

3

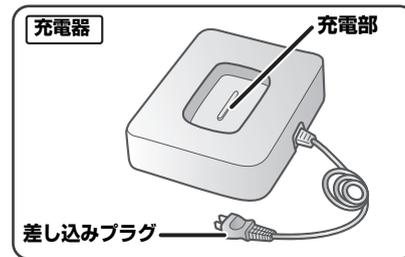
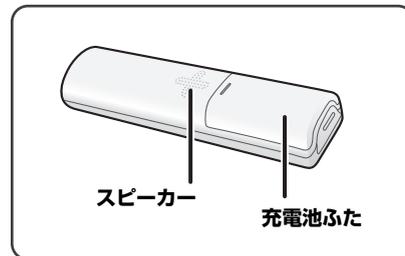
通話ボタンを押すと表示します。

4

充電池の充電残量を表示します。

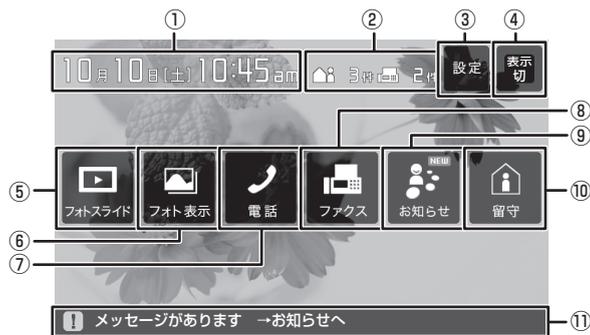
- ：充分に残っています。
- ：少なくなっています。
- ：ほとんどありません。すぐに充電してください。
- ：[電池残量がありません]と表示されて使用できません。10時間以上充電してからお使いください。
- ：充電中は点滅しています（充分に残っている状態から充電した場合は、点滅しません）。

5 着信音切

着信音を［切］に設定しているときに表示します（☞57ページ）。

基本的な操作のしかた

本体では、液晶ディスプレイの表示にタッチして（触れて）操作します（子機使用中は操作できない場合があります）。
※ 本書では、本体の画面に表示されるキーやアイコンを〔フォトスライド〕（例）のように〔〕で表記しています。

ホームメニュー画面について

ホームメニューは、下記のように表示されます。

① 日時表示
　登録された日時が表示されます。
② メッセージ件数／受信ファクス件数表示
　記録されているメッセージ、受信ファクスの件数が表示されます。
③〔設定〕
　タッチすると、各種設定画面が表示されます。
④〔表示切〕
　タッチすると、画面が消灯します。
⑤〔フォトスライド〕
　タッチすると、フォトスライドがはじまります。
　・フォトスライドをはじめる（☞43ページ）
⑥〔フォト表示〕
　タッチすると、写真が1枚と写真表示メニューが表示されます。
　・写真表示メニューについて（☞44ページ）
⑦〔電話〕
　タッチすると、前回利用した電話の画面が表示されます。
　・他の方法で電話をかけたいときは（〔表示切替〕について ☞右記）
⑧〔ファクス〕
　タッチすると、ファクスメニューが表示されます。
　・ファクスを見る（☞51ページ）
　・ファクスを送る（☞54ページ）
⑨〔お知らせ〕
　タッチすると、お知らせ一覧を表示します。
　・お知らせの一覧を表示する（お知らせ）（☞56ページ）
⑩〔留守〕／〔留守中〕
　タッチすると、留守設定を切り替えます。留守設定していないときは〔留守〕、留守設定しているときは〔留守中〕と表示されます。
　新着メッセージがあるときは、メッセージ一覧を表示して連続再生します。
⑪ ガイダンス表示
　ガイダンスが表示されます。「メッセージがあります →お知らせへ」などが表示されているとき、お知らせ一覧やそれぞれの確認画面で内容を確認すると表示が消えます。

■ ホームメニュー画面や1つ前の画面に戻るときは

画面の右上に表示される以下のキーをタッチしてください。
〔ホーム〕：ホームメニュー画面に戻ります。
〔戻る〕：1つ前の画面や一覧表示の画面に戻ります。

■ 操作を途中でやめるときは

画面の右上に表示される〔ホーム〕、〔戻る〕、〔キャンセル〕のいずれかをタッチしてください。

[表示切替] について

ホームメニューで〔電話〕や〔お知らせ〕をタッチすると、画面の右下に〔表示切替〕が表示されます。
〔表示切替〕をタッチすると、切替メニューが表示され、画面を切り替えることができます。

項目を選択するときは

選択したい項目のアイコンや写真をタッチすると次の画面を表示します。

複数の項目を選択するときは

選択したい項目をタッチすると、チェックマークが付いて選択された状態になります。
もう一度タッチするとチェックマークが外れ、選択が解除されます。

一覧表示画面や設定画面では、他にもデータや設定項目がある場合、前ページ／次ページキー（ ＜／＞ または ＜／＞ ）が表示されます。複数選択の場合、選択を保持したまま、前ページまたは次ページに移動できます。

項目を設定するときは

設定画面では、以下のように設定します。
設定したいタブをタッチして画面を切り替えてください。
※本書では、≪電話帳≫（例）のように ≪≫ で表記しています。

設定値がキー表示の場合
現在の設定値がキーに表示されます。
キーをタッチすると、設定値の一覧が表示されます。設定したい値をタッチしてください。

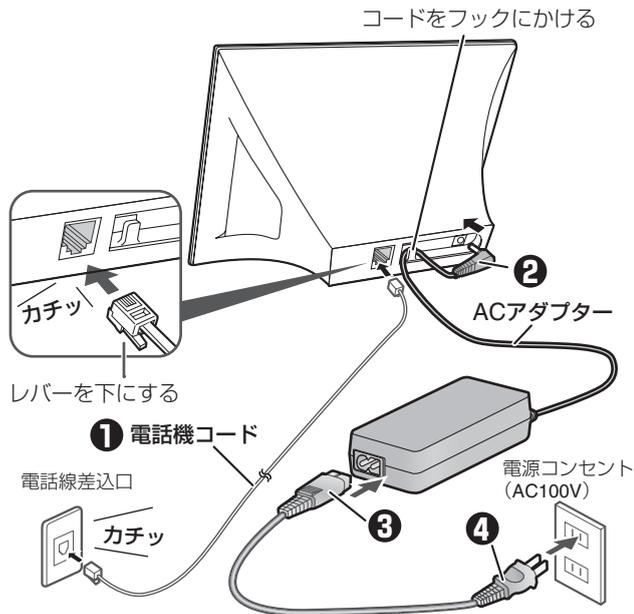
設定値の前に○が付いている場合
現在設定されている値に●が付いています。設定したい○をタッチして、●にしてください。

設定値キーの前後に ＜ ＞ が付いている場合
現在の設定値がキーに表示されます。＜ または ＞ をタッチして、設定値を変更してください。

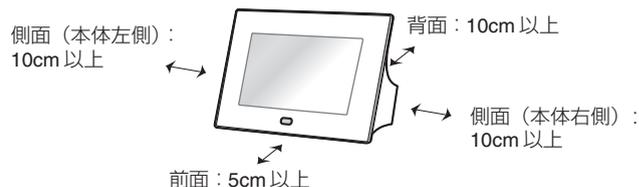
本体を接続する

STEP1 本体を接続する

1 **電話機コードを接続したあと（❶）、ACアダプターを❷❸❹の順に接続する**

必ず電話機コードをACアダプターより先に接続してください。順序を変えると、電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別が正しく設定されないことがあります。

ひかり電話などの光回線やADSL、IP電話などをお使いの場合は接続方法が異なりますので、詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。

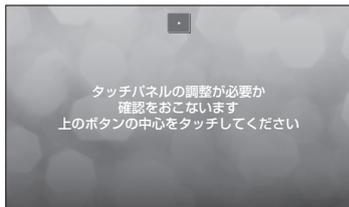
■ **設置について**

本機の操作、日常点検などの作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。

<お知らせ>

- 無線 LAN などをお使いの場合は、電波干渉を防ぐために、機器から本体、子機ともに約3m以上離して設置してください。詳しくは、「本機を設置するときは」（☞8ページ）をご覧ください。
- ACアダプターと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- 1つの電話回線を他の電話機やファクスと並列に接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- 電話機コードは、付属のものをお使いください。付属のものより長いものをお使いになるときは、96ページの別売品をお使いください。それ以外の市販品をお求めの場合、必ず6極２芯と表示されているものをお求めください。
- 直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。また、３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプター、または資格者の工事が必要です。
- 引っ越しをしたときや本機を知人から譲られたときなど、最初に接続した電話回線と異なる回線に接続するときは、回線種別を手動で設定してください（☞19ページ）。

STEP2 タッチパネルの確認をする

ACアダプターを接続すると、タッチパネルの確認画面が表示されます。

1 画面に従ってタッチしてください。

・調整が必要なときは、タッチパネルの調整画面が表示されます（☞95ページ）。画面に従ってタッチしてください。
調整が正しく行われないと、タッチパネルが正しく動作しないことがあります。もう一度本体の電源を入れて、タッチパネルを調整し直してください。

タッチパネルの確認が終了すると、本体が自動的に電話回線の種別を確認します。しばらくお待ちください。ピーと鳴ったら完了です。

STEP3 日付・時刻を設定する

電話回線の種別の確認が終了すると、日付・時刻の設定画面が表示されます。画面に従って設定してください。

1 日付を入力する

・1ケタの数字のときは頭に0を入力してください。
・2009年10月29日に設定したいときは、「20091029」と入力してください。
・変更したい数値をタッチして年・月・日をそれぞれ単独で変更することもできます。

2 時刻を入力する

・時刻は、24時間制で入力します。
・変更したい数値をタッチして時・分をそれぞれ単独で変更することもできます。

3 [登録] をタッチする

■ **日付・時刻を間違って入力したときは**
間違えた日付・時刻の数値をタッチして、あらためて入力してください。

■ **日付・時刻を設定し直すときは**
途中で間違って設定してしまったり、日付、時刻をあとから設定したいときは、59ページを参照して、あらためて設定し直してください。

―＜お知らせ＞―

● 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
● 日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。

STEP4 携帯とくとくダイヤルを設定する

日付・時刻の設定をすると、「携帯とくとくダイヤル」の設定画面になります。

- 携帯電話へ電話をかけるときに、通話料がおトクになるサービスです。
- 番号の前に**「事業者識別番号」**（例：0033=NTT コミュニケーションズなど）を付けてダイヤルすることにより、各電話会社(通信事業者)が設定した通話料を選ぶことができます。

本機能についての詳しい説明は、64〜65ページをご覧ください。

ひかり電話
NTT東日本、NTT西日本の光回線を利用した電話

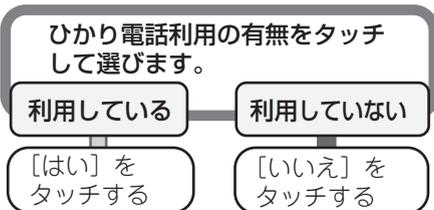
手順2で［使用しない］をタッチしてください。

その他の電話会社の光回線を利用した電話

ご利用の各電話会社（通信事業者）にお問い合わせください。

携帯とくとくダイヤルを利用する場合は

1 [はい] をタッチする

2

■ 電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定するときは

電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。また、回線の状態によっては、自動的に設定できないときがあります。そのときは、あらためて回線種別を設定してください。
ダイヤル回線をお使いの場合は〔ダイヤル回線（20PPS）〕または〔ダイヤル回線（10PPS）〕、プッシュ回線をお使いの場合は〔プッシュ回線（トーン）〕を選んでください。
また、10PPS回線は自動で設定されませんので、この設定で10PPSに変えてからお使いください。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪電話≫ →〔回線種別選択設定〕の順にタッチする
③ 回線種別選択の〔プッシュ回線（トーン）〕、〔ダイヤル回線（20PPS）〕、〔ダイヤル回線（10PPS）〕から設定したい内容をタッチする

・回線を設定しても電話がかけられないときは、別の設定に変更して、もう一度お試しください。それでもかけられないときは、NTT窓口（局番なしの116番）までお問い合わせください。NTT以外の回線をご利用の場合は、契約している事業者に問い合わせてください。

■ 電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別をもう一度、自動で設定するときは

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪電話≫ →〔回線種別選択設定〕の順にタッチする
③ 回線種別選択の〔自動設定〕をタッチする

■ こんなときは

症状	対処
電話がかからない	**■ 回線種別が正しく設定されていますか？** ⇒ ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞左記）。
携帯電話につながらない	**■ 光電話（NTTのひかり電話など）をご契約の場合「携帯とくとくダイヤル機能」はご利用になれません** ⇒ 設定を「使用しない」にします（☞64ページ）。
ファクスの送受信ができない	**■ 82～84、86～87ページをご覧ください。それでも改善されないときは** ⇒ ご契約の内容をご確認ください。詳しくは、契約会社にお問い合わせください。 ⇒ シャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）にご相談ください。
ナンバー・ディスプレイが動作しない	
電話の声が聞こえにくい・雑音が入る	

―<お知らせ>―

● IP電話やひかり電話を使用しているときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
● IP電話（インターネットサービスを使った電話）サービスや、構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください（☞左記）。

子機を充電する／充電池を交換する

通話時間について

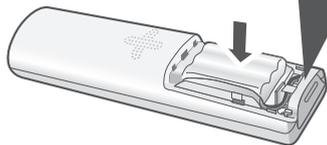
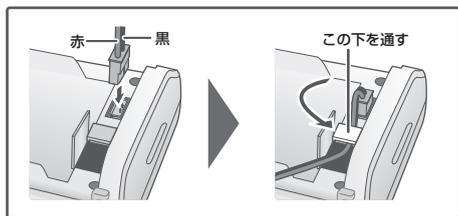
最大約６時間（通話状態）（10時間以上充電したとき）

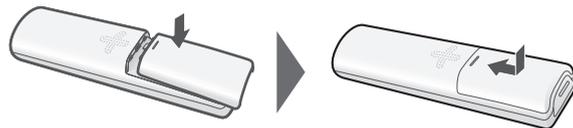
● 通話中や登録操作中に充電残量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴ります。通話中のときは、約１分後に通話が切れます（子機のディスプレイに［**電池残量がありません**］と表示されます）。この場合、通話中のときは、いったん電話を切って充電するか、他の子機に転送してお話しください。登録操作中のときは、充電してください。

充電池をセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、必ず**10時間以上充電**してください。

1 充電池のコネクターを接続して、充電池を子機にセットする

⚠ 警告

充電池のビニールカバーをはがしたり、傷を付けないでください。充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

2 充電池ふたを取り付ける

コードをはさまないようご注意ください。

3 充電器の電源コードを接続し、子機を充電器に置いて充電する

・本体の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時が設定されます。

・充電中は ▮▮▮ が点滅します（充分に残っている状態から充電した場合は、▮▮▮ も点滅しません）。

―＜お知らせ＞―

● 子機を2台以上お使いのときは、子機どうしが近づきすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。

● 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。

● 充電中は充電部や子機が温かくなりますが、異常ではありません。

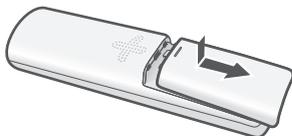
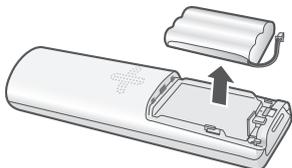
● 電磁誘導による充電の方式を取っています（無接点充電）。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また、通信中のときも雑音やノイズが入る場合は、本体から少し離してご使用ください。

● 電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。

充電池を交換する

充電池は2年程度で交換してください（型番はA-002）

子機の充電池は消耗品です。使用頻度にもよりますが、2年程度で充電池の容量が減少していきます。
長時間充電してもすぐに子機が使えなくなるときには、新しい別売りの充電池（☞96ページ）に交換してください。

1 充電池ふたを取り外す

2 充電池を取り外す

3 新しい充電池を入れる

・「充電池をセットして子機を充電する」（☞20ページ）を参考に、新しい充電池を入れて10時間以上充電してください。

■ 充電式電池のリサイクルご協力のお願い

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

- この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
  この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
  電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。
- 交換後不要になった電池、および使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いします。
  - この商品またはニッケル水素電池をお買いあげいただいた販売店、または「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱い店
  - （社）電池工業会小型二次電池再資源化推進センター、および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

  詳しくは、（社）電池工業会ホームページ「http://www.baj.or.jp/」をご覧ください。
- 電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
- リサイクル時のご注意
  - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
  - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - 電池を分解しないでください。

電話をかける・受ける・かけ直す

電話をかける

1 子機を充電器から取る

2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す
・本体でダイヤルすることもできます。［表示切替］をタッチし、［ダイヤルボタン］をタッチして電話番号を入力し、［確定］をタッチしてください。

3 （外線）を押す

4 相手の方とお話しする

5 通話が終わったら （切）を押す、または充電器に戻す

■ 通話中にお待たせするときは（保留）
保留にすると、音楽が流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

① 通話中に子機の 内線/消去 保留 を押す

・再び通話するときは 内線/消去 保留 または （外線） を押してください。

■ ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには（トーン信号）

① サービスにつながったあと、子機の ＊ピッ トーン を押してからダイヤルボタンを押す

■ 子機を持たずに電話をかける（スピーカーホン通話）
① ダイヤルボタンで、電話番号を押す
② スピーカーホン 発信 を押す
③ 相手につながったら、マイクに向かって話す
④ 通話が終わったら （切）を押す、または充電器に戻す

・ディスプレイに［SP通話中］と表示されます。
・マイクで話す距離のめやすは約50cmです。
・通話時の音量が安定しない場合はスピーカー音量を調整してお使いください（☞58ページ）。
・内線通話でスピーカーホンにすると、相手側で声が響いて聞き取りにくくなることがあります。

■ 天気予報や時報を聞くときは（受話通話）
子機の スピーカーホン 発信 を［SP受話通話中］と表示されるまで３秒以上押してからダイヤルすると、スピーカーから相手の声が聞こえます。ただし、相手の方との通話はできません。
スピーカーホン 発信 を押すと、通話することができます。

■ 通話中、雑音が入るようなときは（電波サポート）
電波サポートを設定すると、改善される場合があります。下記の操作で現在の通話のみ、電波サポートが設定されます。

① 通話中に子機の （決定） を押す
② （下） で［電波サポート］を選び、（決定） を押す

—＜お知らせ＞—
● 本体でダイヤル操作中に他の子機で同時にダイヤル操作しないでください。電話がかからないことがあります。
● 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。
本体と子機とでは表示される通話時間に誤差があることがあります。

電話を受ける

1 **電話がかかってきたら子機を充電器から取る**

・子機を充電器に置いていないときは、 を押す

2 **相手の方とお話しする**

3 **通話が終わったら を押す、または充電器に戻す**

■ **子機を持たずに電話を受ける（スピーカーホン通話）**

① 着信音が鳴ったら

を押す

② 相手につながったら、マイクに向かって話す

③ 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

・マイクで話す距離のめやすは約50cmです。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、電話をかけ直すことができます。
以前かけた番号のうち新しいものから10件まで記録されます。

1 **子機を充電器から取り、 を押す**

2 **でかけたい番号を選び、 を押す**

・子機で再ダイヤルできる番号は、32ケタまでです。

3 **相手の方とお話しする**

4 **通話が終わったら を押す、または充電器に戻す**

■ **本体で電話をかけ直す（再ダイヤル）**

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［電話］をタッチする
② ［表示切替］→［再ダイヤル］の順にタッチする
③ 電話をかけ直したい番号を選ぶ
・本体で再ダイヤルできる番号は、32ケタまでです。
④ 子機を充電器から取り、 を押す
⑤ 相手の方とお話しする
⑥ 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

■ **本体の再ダイヤルの記録をすべて消去するときは（☞97ページ）**

■ **子機の再ダイヤルを1件ずつ消去するときは**

① を押す
② で消去したい番号を選び、 を押す
③ で［1件消去］を選び、 を2回押す

■ **子機の再ダイヤルの記録をすべて消去するときは**

① を押し、 で［全消去］を選ぶ
② を押し、 で［再ダイヤル］を選び、 を2回押す

<お知らせ>

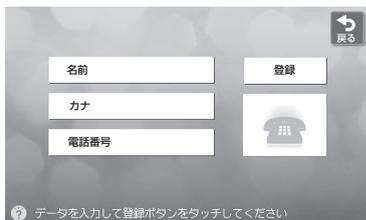
● 再ダイヤルの番号は、本体と子機で別々に記録しています。本体でかけた番号を子機で再ダイヤルしたり、子機でかけた番号を本体や他の子機で再ダイヤルしたりすることはできません。
● 本体の再ダイヤルは、１件ずつ消去できません。
● 通話中は本体でお断りなどの操作をすることができます。ただし、本体と子機を離してご使用になるときは、他の人が本体を操作しても有効となりますのでご注意ください。
● 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。
本体と子機とでは表示される通話時間に誤差があることがあります。

本体の電話帳の登録／修正／消去

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。本体には最大100人分の番号を登録できます。

本体の電話帳に登録する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 ≪電話帳≫ → [新規登録] の順にタッチする

・ホームメニューで［電話］→［表示切替］→［電話帳］→［新規登録］の順にタッチして、この画面を表示することもできます。

3 [名前] をタッチして名前を入力し、[決定] をタッチして入力を確定させ、再度 [決定] をタッチする（全角10文字まで）

・文字を入力する（☞29ページ）

4 「カナ」を確認する（全角10文字まで）

○ 正しいときは：そのまま手順5へ

○ 間違っているときは： タッチして、正しい読みを入力する

・文字を入力する（☞29ページ）

5 [電話番号] をタッチして、番号を入力し、[登録] をタッチする（32ケタまで）

・市外局番から登録してください。

・［ポーズ］をタッチすると、約３秒間の待ち時間（ポーズ）を入力できます（ディスプレイには「ー」（ハイフン）で表示されます）。

6 ○ イメージを登録しないときは：

[登録] をタッチする → 手順９へ

○ イメージを登録するときは：

イメージイラスト（ ）をタッチする → 手順7へ

7 ○ イラストを登録するときは：

[イラストを登録] をタッチして、設定したいイメージイラストを選ぶ

○ 赤外線通信で写真を登録するときは：

[赤外線通信で登録] をタッチして、本体前面の赤外線通信ポートの正面に、携帯電話などの赤外線通信ポートを向けて赤外線通信する

○ メモリーカードの写真を登録するときは：

[メモリーカードから登録] をタッチして、登録したい写真を選ぶ

8 [登録] をタッチする

9 ○ 続けて電話帳を登録するときは：

[新規登録]をタッチする → 手順3からくり返し操作する

○ 電話帳の登録をやめるときは：

[ホーム] をタッチする

―＜お知らせ＞―

● 内部メモリーの写真をイメージに登録することはできません。

● 電話帳は、名前、カナ、電話番号を入力しないと登録できません。

■ 本体の電話帳を修正する

① 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする
② ≪電話帳≫ → [編集] をタッチする
③ 修正したい相手先を選ぶ
④ 修正したい項目をタッチし、修正する
⑤ [登録] をタッチする

■ 本体の電話帳を1件ずつ消去する

① 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする
② ≪電話帳≫ → [消去] をタッチする
③ 消去したい相手先を選ぶ
④ [はい] をタッチする

■ 本体の電話帳をすべて消去するときは（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞97ページ）

■ 本体の電話帳の登録件数を確認するときは（内部メモリー使用容量確認☞69ページ）

■ 本体の再ダイヤルの記録／着信記録を電話帳に登録するときは

① 画面をタッチしてホームメニューにし、[電話] をタッチする
② [表示切替] → [再ダイヤル] の順にタッチする
③ **再ダイヤルを登録するときは**
[新規登録]をタッチし、登録したい再ダイヤルをタッチする
着信記録を登録するときは
[着信記録] → [新規登録]をタッチし、登録したい着信記録をタッチする
・着信記録の登録には、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。
④ 必要な項目を登録し、[登録] をタッチする

フォト電話帳の登録／解除

電話帳に登録した相手先の中から、よく利用する相手先をフォト電話帳に登録することができます。ダイヤルしたり電話帳を選んだりすることなく、写真やアイコンをタッチして電話をかけることができます。最大6件の相手先を登録できます。

フォト電話帳に登録する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 ≪電話帳≫ → [フォト電話帳の登録と解除] をタッチする

3 [タッチして登録してください] をタッチする

・[タッチして登録してください] が表示されていない場合は、フォト電話帳を解除する（☞右記）で登録されているフォト電話帳を解除してから登録し直してください。

・ホームメニューで［電話］→［表示切替］→［フォト電話帳］の順にタッチし、[タッチして登録してください] をタッチして、登録することもできます。

4 登録したい相手先を選ぶ

5 ○ 続けてフォト電話帳を登録するときは：
[フォト電話帳の登録と解除] をタッチする → 手順3からくり返し操作する
○ フォト電話帳の登録をやめるときは：
[ホーム] をタッチする

フォト電話帳を解除する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 ≪電話帳≫ → [フォト電話帳の登録と解除] をタッチする

3 解除したいフォト電話帳を選ぶ

4 [解除する] をタッチする

5 ○ 続けてフォト電話帳を解除するときは：
[フォト電話帳の登録と解除] をタッチする → 手順3からくり返し操作する
○ フォト電話帳の解除をやめるときは：
[ホーム] をタッチする

―<お知らせ>―

● フォト電話帳に登録している電話帳の内容を変更・消去すると、フォト電話帳の内容も変更・消去されます。

子機の電話帳の登録／修正／消去

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機には最大100人分の番号を登録できます。

子機の電話帳に登録する

1 を押し、 で［電話帳］を選ぶ

2 を押し、 で［電話帳登録］を選ぶ

3 を押し、ダイヤルボタンで名前を入力する（全角10文字／半角20文字まで）

○ 名前の入力を省略するときは、何も入力せず を押す
→ 手順6へ

・文字を入力する（☞29〜31ページ）

4 を押す

5 「読み」を確認する

○ 正しいときは：そのまま を押す

○ 間違っているときは： で修正したい文字まで移動して、内線/消去 保留 で消去、ダイヤルボタンで修正したあと を押す

・「読み」は半角12文字まで入力できます。

6 ダイヤルボタンで電話番号を入力する（24ケタまで）

・市外局番から登録してください。

7 を押す

■ 子機のポーズについて

電話番号入力時に を押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）を入力できます。

ディスプレイには「－」（ハイフン）で表示されます。

■ 子機の電話帳を修正する

① 📖 を押す

② で修正したい相手の番号を選び、 を押す

③ で［電話帳変更］を選び、 を押す

④ ダイヤルボタンで名前を修正して、 を押す

⑤ ダイヤルボタンで「読み」を修正して、 を押す

⑥ ダイヤルボタンで電話番号を修正して、 を押す

・修正しない項目は、修正せずにそのまま を押してください。

■ 子機の電話帳の内容を本体にも登録するときは（☞35ページ）

■ 子機の再ダイヤルの記録を電話帳に登録するときは

① を押す

② で登録したい番号を選び、 を押す

③ で［電話帳へ登録］を選び、 を押す

④ 名前を入力して、 を押す（☞29～31ページ）

⑤ 読みを確認して、 を押す

⑥ 電話番号を確認して、 を押す

■ 子機の着信記録を電話帳に登録するときは

① を押す

② で登録したい番号を選び、 を押す

③ で［電話帳へ登録］を選び、 を押す

④ 名前を入力して、 を押す（☞29～31ページ）

⑤ 読みを確認して、 を押す

⑥ 電話番号を確認して、 を押す

・着信記録の登録には、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

■ 子機の電話帳を1件ずつ消去する

① を押す

② で消去したい相手の番号を選び、 を押す

③ で［1件消去］を選び、 を2回押す

―＜お知らせ＞―

● 本体が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って、子機の電話帳の登録／修正／消去をすることはできません。

文字を入力する

文字入力のしかた（本体）

① 入力表示
　現在入力している文字が表示されます。
② ［英数］／［カナ］／［かな］
　入力モードを変更します。
③ 文字入力キー
　表示されている文字を入力します。
④ ［小文字］／［大文字］
　小文字／大文字入力画面に切り替えます。
⑤ ［変換］
　［かな］で入力した文字を変換します。タッチするたびに、次の変換結果を表示します。［決定］をタッチすると変換が確定します。
⑥ ［戻る］／［取消］
　何も文字を入力していないときは、［戻る］が表示されます。タッチすると、何も入力せずに元の画面に戻ります。
　文字を入力しているときは、［取消］が表示されます。タッチすると、一番後ろの文字が消去されます。
　［変換］をタッチして変換中のときは変換を止めて、かな表示に戻ります。
⑦ ［決定］
　［かな］の変換時は、変換を確定します。
　変換時以外は、文字入力を決定し、画面が切り替わります。

＜お知らせ＞

- 本体は全角入力のみです。
- 本体では区点コード入力はできません。

文字入力のしかた（子機）

入力モードを切り替えることによって、(漢)／(ｶﾅ)／(英)／(数)／半(ｶﾅ)／半(英)／半(数)／(区点) の8種類が入力できます。

1 文字切替（キャッチ） を押し、入力モードを選ぶ（押すごとに切り替え）

2 ダイヤルボタンで文字を入力する

・ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]では１ボタンにつき１文字）。

・例：【1】の場合　ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ

・うまく漢字に変換できないときは、１文字ずつ入力したり、読みかたを変えて入力してください。

■ 文字を消去するときは

子機で文字を消すときは、内線/消去（保留）を押します（カーソルの1つ前の文字を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。2秒以上、内線/消去（保留）を押し続けると、すべての文字が消去されます。

■ **小文字を入力するときは**

小文字のある「あ行」、「た行」、「や行」では、大文字の切り替えが一巡したあと、小文字を入力することができます。詳しくは、文字入力一覧表（☞31ページ）をご覧ください。

■ **文字と文字の間を空けるには（「姓」と「名」の間を空けるときなど）**

前の文字を入力したあとに を押し、スペースを入力してから次の文字を入力してください。

【0】をスペースが入力されるまで押して間を空けることもできます。ただし、入力モードが〔数〕、半〔数〕、〔区点〕のときは、スペースを入れることはできません。詳しくは、文字入力一覧表（☞31ページ）をご覧ください。

■ **同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するには（「イエ」など）**

文字を入力したあと、 を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

文字入力一覧表（子機）

入力ボタン	ひらがな (漢) ※1	カタカナ (ｶﾅ)／半(ｶﾅ)	英 字 (英) ／ 半(英)※2	数字 (数)／半(数)	区点コード (区点)
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ . ／ー＿	1	※3
2 か	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2	
3 さ	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3	
4 た	たちつてと っ	タチツテト ッ	G H I g h i	4	
5 な	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5	
6 は	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6	
7 ま	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7	
8 や	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	T U V t u v	8	
9 ら	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9	
0 わ	わ を ん ー □（スペース） 。 、	ワヲン ー □（スペース） 。 、 ※4	, ： ！ ？ & （ ） ［ ］ □（スペース）	0	

入力ボタン	ひらがな (漢) ※1	カタカナ (ｶﾅ)／半(ｶﾅ)	英 字 (英) ／ 半(英)※2	数字 (数)／半(数)	区点コード (区点)
＊ トーン	濁点/半濁点 ※5		無効	＊／＊	無効
＃	無効			＃	無効
（左右）	カーソル左右移動				
（上下）変換	かな漢字変換/カーソル上下移動	カーソル上下移動			
（決定）	入力した文字の決定	決定（次へ進む）			
内線/消去 保留	1文字消去（2秒以上押し続けると、すべての文字を消去）				
文字切替 キャッチ	文字の種類の切り替え				

※1：子機が本体の電波の届く範囲にないと、子機の文字入力機能は使用できません。
※2：半角英字のアルファベットは大文字のみです。
※3：区点コードについては100〜102ページをご覧ください。
※4：。 、 は全角のみです。
※5：濁点・半濁点を付けたい文字を入力したあとに押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナでは、濁点、半濁点も1文字として入力されます）。

電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録しておくと、電話帳から相手先を選んで電話をかけることができます。

●電話帳登録 本体（☞24ページ）／子機（☞27ページ）

電話帳でかける

1 子機を充電器から取り、 を押す

2 で相手を選び、 を押す

3 相手の方とお話しする

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

■ 本体の電話帳でかける

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔電話〕をタッチする
② 〔表示切替〕→〔電話帳〕の順にタッチする
③ 電話をかけたい相手の行をタッチし、相手先を選ぶ
④ 子機を充電器から取り、 を押す
⑤ 相手の方とお話しする
　・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。
⑥ 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

■ 子機で25ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

① を押す
② で番号を選び、 を押す
③ 電話が発信される前に、 を押す
④ で次の番号を選び、 を押す
⑤ 相手の方とお話しする
⑥ 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

■ 子機で名前の頭文字から検索して電話をかけるときは

【1】～【0】のダイヤルボタンは、登録した名前の頭文字の行（あ行 ～ わ行）に対応しています。ダイヤルボタンを押すことで、該当する相手の番号を電話帳から検索できます。

① を押す
② ダイヤルボタンで相手の名前の行を入力する
　（例：「友人」を探すときは 【8】）（☞29～31ページ）
③ 目的の相手の番号が選ばれていないときは、 を押して選び、
　 を押す
④ 相手の方とお話しする
⑤ 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

■ 子機の電話帳に184（非通知）や186（通知）を付けて電話をかけるときは（特番ダイヤル）

184や186などの番号を電話帳に登録した番号の前に入れてダイヤルします。

① を押す

② で番号を選び、 を押す

③ で［特番ダイヤル］を選び、 を押す

④ 特番ダイヤルを入力する（8ケタまで）
非通知でかけるときは【1】【8】【4】、通知してかけるときは【1】【8】【6】と順に押す

⑤ を押す

⑥ 相手の方とお話しする

⑦ 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

＜お知らせ＞

● 子機の電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。数字（０～９）→英字（Ａ～Ｚ）→カナ（50音順）
● 本体には、チェーンダイヤル機能と特番ダイヤル機能はありません。

フォト電話帳で電話をかける

フォト電話帳に登録した写真やアイコンをタッチして電話をかけることができます。

●フォト電話帳登録（☞26ページ）

写真をタッチして電話をかける

1 子機を充電器から取る
・ 前回利用した電話メニューの画面が表示されます。

2 本体で[表示切替] → [フォト電話帳] の順にタッチする

3 電話をかけたい相手の方を選ぶ

4 子機の ◯ を押す

5 相手の方とお話しする
・ 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

6 通話が終わったら ◯ を押す、または充電器に戻す

本体と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する

本体で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を本体に転送することができます（転送した電話番号は消えません）。

本体の電話帳を子機に転送する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 ≪電話帳≫ → [子機転送] をタッチする

3 ○ 1件ずつ転送するとき：[1件ごと転送] をタッチする
→ 手順4へ
○ すべて転送するとき：[全件転送] をタッチする
→ 手順5へ

4 転送したい相手先を選ぶ

5 転送する子機の番号（[子機1] ～ [子機4]）をタッチする

■ **子機の電話帳をすべて転送する**

子機から子機への電話帳の転送は、子機を2台以上お使いのときにご使用になれます。

① を押す

② で［電話帳］を選び、 を押す

③ で［電話帳全転送］を選び、 を押す

④ で本体（親機）、または他の子機から転送先を選び、 を押す

■ **子機の電話帳を1件ずつ転送する**

子機から子機への電話帳の転送は、子機を2台以上お使いのときにご使用になれます。

① を押す

② で転送したい相手を選び、 を押す

③ で［1件転送］を選び、 を押す

④ で本体（親機）、または他の子機から転送先を選び、 を押す

・本体が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

―＜お知らせ＞―

- 子機から本体へ転送できる読み（カナ）は10文字目までです。11文字目以降の読み（カナ）は転送できません。
- 本体に登録した写真やイメージは転送されません。
- 転送先の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 名前と読み（カナ）と電話番号が同じデータをすでに登録されている場合は、転送動作は完了しますが、データは転送されません。

ワンタッチダイヤルを使う（子機）

よく電話をかける相手の方を、ワンタッチダイヤル（3件、子機のみ）に登録しておくと、かんたんな操作で電話をかけることができます。
ワンタッチダイヤルに登録する電話番号は子機の電話帳から選びます。あらかじめ相手の方を子機の電話帳に登録（☞27ページ）しておいてください。

ワンタッチダイヤルに番号を登録する

1 を押す

2 で［電話帳］を選び、を押す

3 で［ワンタッチ登録］を選び、を押す

4 でワンタッチダイヤルを
○［ワンタッチ 1］
○［ワンタッチ 2］
○［ワンタッチ 3］
から選ぶ

5 を押す

6 で［登録］を選び、を押す

7 で登録したい相手先を電話帳から選び、

を押す

ワンタッチダイヤルで電話をかける

1 子機を充電器から取る

2 電話をかけたいワンタッチダイヤルを・、・・、・・・から選んで押す

3 通話が終わったらを押す、または子機を充電器に戻す

■ 子機のワンタッチダイヤルの登録を消去するには

① を押す

② で〔電話帳〕を選び、 を押す

③ で〔ワンタッチ登録〕を選び、 を押す

④ で消去したいワンタッチダイヤルを、〔ワンタッチ1〕、〔ワンタッチ2〕、〔ワンタッチ3〕から選び、 を押す

⑤ で〔消去〕を選び、 を2回押す

■ 子機のワンタッチダイヤルの登録をすべて消去するには

① を押す

② で〔全消去〕を選び、 を押す

③ で〔ワンタッチ〕を選び、 を2回押す

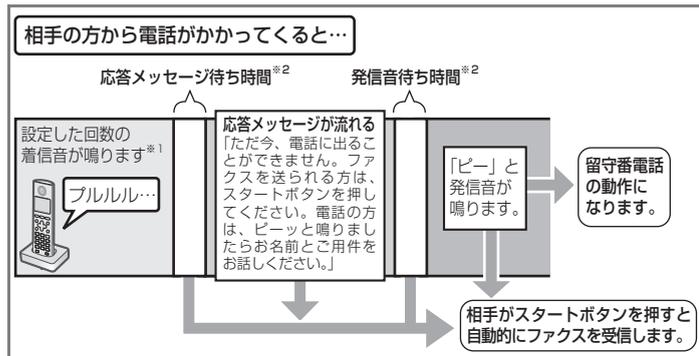
―<お知らせ>―

● ワンタッチダイヤルに登録している電話帳の内容を変更・消去すると、ワンタッチダイヤルの内容も変更・消去されます。

留守に設定する／解除する

外出中に相手の方の用件を録音したり、ファクスを自動受信します。

● 相手の方の用件は、１件につき約30秒間録音できます（録音時間は変更できます。「録音時間」☞98ページ）。

● すべての録音を合わせて、最大約15分間または30件まで録音できます。

※1 着信音の回数は変更できます（☞41ページ 「留守番電話の応答回数を変更する（留守時応答回数）」）。工場出荷時の回数は「４回」です。

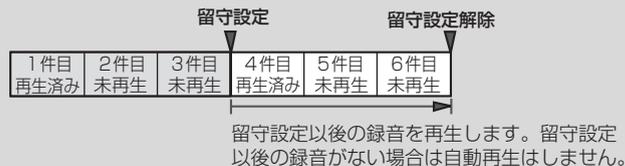
※2 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は変更できます（☞98ページ）。工場出荷時の設定は〔4秒〕です。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります（応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です）。

本体で留守に設定する

1 **画面をタッチしてホームメニューにし、[留守] をタッチする**

・録音できる残り時間がないときは、「メモリーがいっぱいです」と音声でお知らせします。
不要なメッセージを消去してください（☞41ページ）。

本体で留守設定を解除する

留守設定を解除すると、留守設定中に録音されたメッセージを自動的に再生します。新しい録音がない場合は、再生しません。

1 **留守設定中に、画面をタッチしてホームメニューにし、[留守中]をタッチする**

・録音されている件数がホームメニューの右上に表示されます。

○ **再生が最後まで終わると、自動的に再生が終了します。→手順2へ**

○ **再生を途中でやめるときは、再生しているメッセージをタッチする**

2 ○ **聞き直したいときは：メッセージをタッチする**

○ **終了するときは：[ホーム] をタッチする**

―<お知らせ>―

● 応答メッセージは固定のみです。変更することはできません。

■「メッセージがあります →お知らせへ」と表示しているときは
新しく入った録音があります。
留守を解除したあとでも、表示しているときは、まだ再生していない（未再生）録音があります。
すべて再生済みになると表示が消えます。

■「ファクスがありました →お知らせへ」と表示しているときは
受信したファクスがあります。すべての受信データを確認または消去（☞51、52ページ）すると、表示が消えます。

■ 子機で留守設定をする／解除する

① を押す

② で［留守番電話］を選び、を押す

③ で［留守設定切替］を選び、を押す

④ で［解除］または［設定］を選び、を押す

・子機で留守を解除すると、留守設定をしたあとに録音があっても再生しません。

録音されている内容を再生／消去する

録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや「今から録音」、「戻って録音」）を再生するときの操作です。本体と子機のどちらでも再生できます。

本体で録音内容を再生する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、［お知らせ］をタッチする

2 ［表示切替］→［メッセージ一覧］の順にタッチする

3 再生したいメッセージを選ぶ

4 ○ 再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了する
→手順5へ
○ 再生を途中でやめるときは、
再生しているメッセージをタッチする

5 ○ 聞き直したいときは：メッセージをタッチする
○ 終了するときは：［ホーム］をタッチする

■ 再生中に電話がかかってきたら
着信すると、再生は自動的に止まります。そのまま電話に出ると、お話しすることができます。

■ 本体の内部メモリーの残量を確認するには（内部メモリー使用容量確認 ☞69ページ）

子機で録音内容を再生する

1 を押す

2 で［留守番電話］を選び、 を押す

3 で［用件再生］を選び、 を押す

・録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
留守設定にしていないときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。

4 ○ 再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了します。
○ 再生中の録音を1件消去したいときは 内線/消去 保留 → 1 あ と順に押します。
○ 再生を途中でやめるときは、（切）を押します。

―――＜お知らせ＞―――
● 本体が使用中などのときは、エラー音が鳴って録音内容を再生することができません。

再生中にできる操作について

■ 本体

再生を途中でやめる	再生中に再生しているメッセージをタッチする
再生スピードを変える	再生中に［再生スピード］をタッチする ・押すたびに、再生の速さが「速い」→「遅い」→「標準」→「速い」…と切り替わります。
音量を変える	音量を小さくするには［小］、大きくするには［大］をタッチする

■ 子機

再生を途中でやめる	再生中に（切）
再生中の録音を聞き直す	再生中に 5 な ※1
次の録音にとばす	再生中に 6 は
1つ前の録音に戻す	3秒以上再生したあと 5 な を2回続けて押す ※2
再生スピードを変える	再生中に 9 ら ・押すたびに、再生の速さが「速い」→「標準」→「速い」…と切り替わります。
再生中の録音を1件消去するには	消したい録音を再生中に 内線/消去 保留 → 1 あ と順に押す。

※1 再生が約3秒以内のときに 5 な を押すと、1つ前の録音に戻ります。

※2 聞きたい録音まで戻すときは、5 な をくり返し押します（1回押すごとに1つ戻ります）。

留守番電話の応答回数を変更する（留守時応答回数）

■ **本体で録音メッセージを消去するには**

本体メモリーにあるメッセージを消去できます。

1件ずつ選んで消去するときは

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔お知らせ〕をタッチする
② 〔表示切替〕→〔メッセージ一覧〕の順にタッチする
③ 〔消去メニュー〕をタッチし、消去したいメッセージを選ぶ
④ 〔消去〕→〔はい〕の順にタッチする
・消去途中に〔キャンセル〕をタッチすると、〔キャンセル〕をタッチするまでのメッセージデータが消去されます。

すべて消去するときは（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞97ページ）

■ **子機で録音をすべて消去するには**

① を押す

② で〔留守番電話〕を選び、 を押す

③ で〔録音全消去〕を選び、を２回押す

＜お知らせ＞

● 不要な用件はなるべく消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー残量が少なくなり、あらたに録音ができなくなることがあります。

留守番電話に設定しているときに、応答メッセージが流れるまでの相手の方への応答回数を変更することができます（1回～25回まで）。工場出荷時は〔4回〕に設定されています。
応答回数を7回以上に設定すると、相手の方がファクスを自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、応答回数を6回以下に設定してください。

留守時応答回数を設定する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 ≪電話≫ → [留守番電話の設定] の順にタッチする

3 留守時応答回数（1～25回）の [1回] ～ [25回] から設定したい内容を選ぶ

＜お知らせ＞

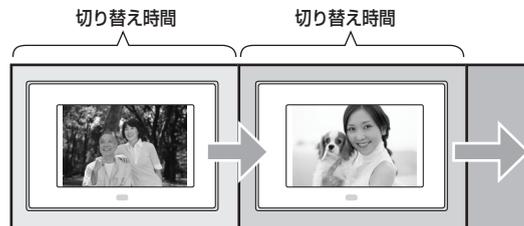
● 子機の着信音は1回～2回遅れて鳴ることがあります。この場合、設定した回数より着信音の回数が少なくなります。
ナンバー・ディスプレイのご契約をされていない場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を〔使用しない〕に変更すると改善されることがあります（☞74ページ）。

写真を表示する

フォトスライドとは

メモリーカードの中にある写真や本体にコピーした写真を 1 枚ずつ順番に表示します。
何も操作をしていないときに、画面をタッチしないで3分経過すると、自動的にフォトスライドがはじまります。消灯状態から設定時刻に点灯して自動的にフォトスライドをはじめることもできます。

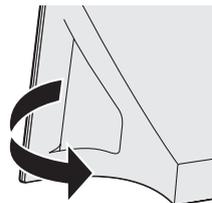
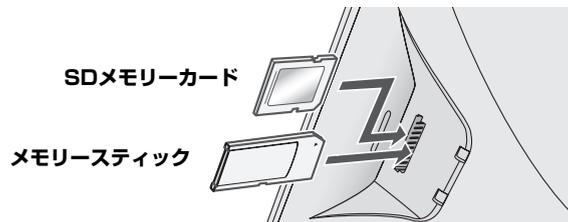
- メモリーカードが挿入されているときは、メモリーカードの写真を表示します。
- カレンダーや時計と写真を一緒に表示したり、表示するレイアウトを変更したりすることもできます（「レイアウトの設定をする」☞45ページ）。
- フォトスライド中に画面をタッチするとホームメニューが、着信すると着信画面が、子機を充電器から取ったり子機の ⌒ を押したりすると前回利用した電話メニューの画面が表示されます。

フォトスライドがはじまると…

現在再生しているメモリー内の写真が設定した順番で再生されます。
フォトスライド切り替え中は、タッチ操作はできません。

■ **表示できる写真のファイル形式について**

JPEG 形式の写真ファイル（Exif 規格に対応）を表示できます。パソコンで加工したJPEGファイルは、表示や操作できない場合があります。
64 × 64～8,000 × 8,000ピクセルの写真ファイルを表示できます。

メモリーカードを取り付ける

1 メモリーカードスロットカバーを取り外す

2 メモリーカードを図の向きに合わせて、カードスロットの奥まで確実に挿入する

・ ななめに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
・ メモリーカードの端子面を液晶ディスプレイ側にして挿入してください。
・ SD メモリーカードとメモリースティックを２枚同時に挿入することはできません。

■ メモリーカードを取り外す

写真の表示中や本体のディスプレイに「メモリーカードを抜かないでください」と表示しているときは、メモリーカードを取り外さないでください。ファイルが開けなくなったり、メモリーカードが破損するおそれがあります。

① 手でまっすぐにゆっくりとメモリーカードを取り出す

―＜お知らせ＞―

● メモリーカード以外のものを挿入すると、破損するおそれがあります。
● メモリーカードを無理に抜き取ると、本体やメモリーカードが破損することがあります。
● メモリーカードを抜き取るときに、金属端子部分を手や金属で触れないでください。
● カードアダプターを使用して本体に取り付けたメモリーカードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本体に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。

フォトスライドをはじめる

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[フォトスライド]をタッチする

・ フォトスライドがはじまります。

■ 再生したい写真の入っているメモリーに切り替えるときは

再生するメモリーカード／ 内部メモリーを、メニュー操作で切り替えることができます（☞46ページ）。

写真表示メニューについて

ホームメニューで〔フォト表示〕をタッチすると、写真が1枚と写真表示メニューが表示されます。

① メモリー表示部
　表示している写真が、内部メモリーの写真データかメモリーカードの写真データかを表示しています。
② 〔レイアウト〕
　画面にカレンダーや時計を表示する設定をします。
③ 〔フォト一覧〕
　表示しているメモリー内にある写真を一覧表示します。
④ 〔前へ〕／〔次へ〕
　表示している写真の１つ前／後の写真を表示します。
⑤ 〔フォトスライド〕
　フォトスライドをはじめます。
⑥ 〔回転〕
　タッチするたびに、写真が時計回り（右回り）に90°ずつ回転します。

何もタッチせずに５秒経過すると、自動的に写真表示メニューが消えます。何もタッチせずに３分経過すると、自動的にフォトスライド（☞42、43ページ）がはじまります。

写真を1枚ずつ表示する

メモリーの写真を1枚ずつ表示することができます。

1　画面をタッチしてホームメニューにし、[フォト表示] をタッチする
・ 写真が一枚表示されます。
・ 写真表示メニューについて：☞左記

写真を一覧から選んで表示する

写真の一覧（インデックス）画面から、お気に入りの1枚だけを表示することができます。

1　画面をタッチしてホームメニューにし、[フォト表示] をタッチする

2　[フォト一覧] をタッチする
・ インデックス画面の上に表示されている数字（1/2 など）は、画面番号/ 画面総数を表します。

3　一枚表示したい写真をタッチする
・ 写真が一枚表示されます。
・ 写真表示メニューについて：☞左記

―＜お知らせ＞―
● 写真を回転させておくと、フォトスライドでも回転させた向きで写真が表示されます。ただし、メモリーカードの場合は、電源を入れ直したりメモリーカードを取り付け直したりすると、元に戻ります。

デジタルフォトフレームの設定をする

フォトスライドの設定をする

フォトスライドの切り替え時間、再生順などを変更できます。

1 **画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする**

2 **≪フォトスライド≫ をタッチする**

3 **設定したい内容をタッチする**
・ 詳しくは下表をご覧ください。

項目	設定	工場出荷時
切り替え時間	5秒／10秒／30秒／1分／5分／30分※／1時間※／3時間※／12時間※／24時間※	5秒
再生順	撮影日時／シャッフル	撮影日時

※ 30分は毎時間00分と30分に、1時間は毎時間00分に、3時間は0時、3時、6時…に、12時間は0時、12時…に、24時間は0時に切り替わります。

＜お知らせ＞

- フォトスライドの設定をする前に、必ず時刻を設定してください。
- 切り替え時間は、およその時間です。
- 撮影日時順に設定したときは、ファイル中の撮影日時データが古い順に再生されます。

レイアウトの設定をする

フォトスライドの写真の表示方法を変更できます。カレンダーや時計と組み合わせることもできます。

1 **画面をタッチしてホームメニューにし、[フォト表示] をタッチする**

2 **[レイアウト] をタッチする**

3 **設定したい内容をタッチする**
・ 詳しくは下表をご覧ください。
・ 選択したレイアウトのフォトスライドがはじまります。

項目	設定	工場出荷時
レイアウト	標準（黒）／標準（白）／全画面※／時計／写真＋カレンダー（黒）／写真＋カレンダー（白）／写真＋時計（黒）／写真＋時計（白）	標準（黒）

※ 全画面表示の設定は、写真によっては正しく表示されなかったり、写真の一部が表示されなかったりすることがあります。

＜お知らせ＞

- 日付と時刻の設定をしていない場合は、時計やカレンダーを利用できません。
- 時計の表示は、およその時間です。
- カレンダーの祝日は、2009年現在のものです。

再生メモリーを切り替える

写真の一覧（インデックス）画面から、表示する再生メモリーを切り替えることができます。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[フォト表示] をタッチする

2 [フォト一覧] → [メモリー切替] の順にタッチする

・メモリー表示部（☞44 ページ）が内部メモリーのときはメモリーカードの再生に、メモリーカードのときは内部メモリーの再生に切り替わります。

内部メモリーに写真データをコピーする

メモリーカードの写真データや携帯電話の写真データを内部メモリーにコピーできます。

メモリーカードの写真データを内部メモリーにコピーする

使用するメモリーカードを取り付けておいてください（☞42、49ページ）。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[フォト表示] をタッチする

2 [フォト一覧] をタッチする
- 内部メモリーの一覧が表示されている場合は、[メモリー切替] をタッチしてメモリーをメモリーカードに切り替えてください。

3 [内部メモリーへ保存] をタッチする

4 内部メモリーへ保存したい写真データを選ぶ

○ すべて選択したいときは：[ページ内選択] をタッチする
- 画面に表示されているすべての写真データが選択されます。他のページの写真データは選択されません。

○ 選択を解除したいときは：[すべて解除] をタッチする
- 選択されたすべての写真データが解除されます。

5 [保存] をタッチする
- 保存がはじまります。

■ メモリーカードを取り外すときは（☞43ページ）

＜お知らせ＞
● 内部メモリーのデータをメモリーカードにコピーすることはできません。

赤外線通信で写真データを内部メモリーにコピーする

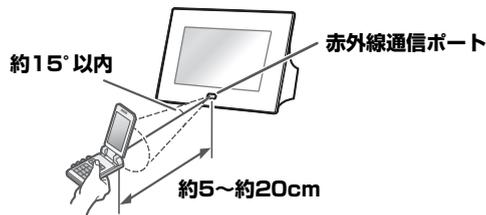
赤外線通信（IrSS通信）で写真データが送信できるようにしておいてください。

IrSS™に対応している必要があります。ただし、使用する相手の機器によっては、対応する通信機能を搭載していても通信できない場合があります。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[フォト表示] をタッチする

2 [フォト一覧] をタッチする
- メモリーカードの一覧が表示されている場合は、[メモリー切替] をタッチしてメモリーを内部メモリーに切り替えてください。

3 [赤外線通信] をタッチする

4 本体前面の赤外線通信ポートの正面に、携帯電話などの赤外線通信ポートを向けて赤外線通信する

両ポートは、角度を上下左右約15°以内に、距離を約5～約20cmにしてください。
携帯電話などの機器で、写真データを送信します。詳しくは携帯電話などの機器の取扱説明書をご覧ください。
通信が開始されると「受信中です」と表示されます。
しばらくすると画面に受信データ（写真データ）が表示されます。
内部メモリーに自動的にコピーされます。

5 ○ 続けてコピーしたいときは：手順4をくり返す
○ コピーを終わるときは：[戻る] をタッチする

■ 赤外線通信がうまくいかないときは

機器の間に障害物がないこと、赤外線通信ポートが正しく向き合っていることを確認してください。
直射日光の下、または蛍光灯の真下で赤外線通信をしないでください。
テレビやビデオのリモコンなど他の赤外線通信機器や、ノイズを発生する機器が近くにあると、正しく通信できないことがあります。

■ 赤外線通信の画像サイズについて

赤外線通信を利用するときに、本体で扱える画像サイズは64 × 64 ～ 8,000 × 8,000ピクセルです。
また、ファイルサイズが6MBを超える画像は本機で受信できません。

■ 内部メモリーの写真データを消去するには

1件ずつ選んで消去するときは

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔フォト表示〕をタッチする
② 〔フォト一覧〕をタッチする
・メモリーカードの一覧が表示されている場合は、〔メモリー切替〕をタッチしてメモリーを内部メモリーに切り替えてください。
③ 〔消去メニュー〕をタッチし、消去したい写真データを選ぶ
・〔ページ内選択〕 をタッチすると画面表示されている写真データがすべて選択されます。
・〔すべて解除〕をタッチするとすべての選択が解除されます。
④ 〔消去〕→〔はい〕の順にタッチする
・消去途中に〔キャンセル〕をタッチすると、〔キャンセル〕をタッチするまでの写真データが消去されます。

すべて消去するときは（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞97ページ）

■ 本体の内部メモリーの残量を確認するには（内部メモリー使用容量確認 ☞69ページ）

＜お知らせ＞

- データの保存中は、メモリーカードを取り外さないでください。本体やメモリーカードが破損することがあります。
- メモリーカードの写真データを内部メモリーにコピーした場合、本体の液晶ディスプレイに合わせた写真データのサイズに変換されます。

メモリーカードについて

メモリーカードは付属していませんので、別途お買い求めください。

使用できるメモリーカードについて

本書では、以下のSD カード、メモリースティックを総称して「メモリーカード」と呼んでいます。

SDカード

本書では、以下のものをまとめて「SDカード」と呼んでいます。

SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカード	最大2GBまで
SDHC メモリーカード	最大32GBまで
miniSDHC メモリーカード、microSDHC メモリーカード	最大4GBまで

当社で動作確認済みのSDカード（メーカー／型番／容量）
SDメモリーカード（東芝／SD-B001GT4／1GB、東芝／SD-B002GT4／2GB）
SDHCメモリーカード（東芝／SD-C16GT4／16GB、東芝／SD-C32GT4／32GB）

メモリースティック

本書では、以下のものをまとめて「メモリースティック」と呼んでいます。

メモリースティック、メモリースティック Duo	最大128MBまで
メモリースティック マイクロ、メモリースティック PRO	最大1GBまで
メモリースティック PRO Duo	最大16GBまで
メモリースティック PRO-HG Duo	最大8GBまで

当社で動作確認済みのメモリースティック（メーカー／型番／容量）
メモリースティック マイクロ（SONY／MS-A1GD／1GB）
メモリースティック PRO Duo（SONY／MS-MT16G／16GB）
メモリースティック PRO-HG Duo（SONY／HS-HX4G／4GB）

メモリーカードの取り扱いについて

■ メモリーカードは大切にお使いください

・メモリーカードの登録内容は、使いかたを誤ったときや、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておかれることをおすすめします（パソコンへコピーするなど）。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・メモリーカードは精密電子機器です。強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
・高温多湿の場所、またホコリの多いところや腐食性のガスが発生するようなところでの使用・保管はしないでください。

■ miniSD(miniSDHC)カードやmicroSD(microSDHC)カード、メモリースティック Duo（マイクロ、PRO Duo、PRO-HG Duo）を本体に接続するには

それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。アダプターを使用せずにカードを挿入すると取り外せなくなることがありますのでご注意ください。

■ 書き込み禁止スイッチについて

メモリーカードには、データの誤消去を防止するために「書き込み禁止スイッチ」が付いているものがあります。「LOCK」側にすると、データの消去や登録ができなくなります。
・メモリーカードを本体に取り付けるとき、ななめから入れると、本体に引っかかり、書き込み禁止スイッチが「LOCK」側にずれることがあります。引っかからないようにまっすぐ挿入してください。

—＜お知らせ＞—

● 当社で動作確認済みのメモリーカードは当社のサポートページ（http://www.sharp.co.jp/support/）でご確認ください。
● 対応表の範囲内の、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
● メモリーカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。

ファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクス受信に切り替えることができます。

ファクスを受ける

1 **着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る**

・子機を充電器に置いていないときは、 を押してください。

2 **「ポー・ポー…」という音が聞こえるか、相手側でファクス送信の操作がされたら…**
本体で操作するときは：［ファクスを受信］をタッチする

子機で操作するときは： を押し、 で［FAX受信］を選び、 を押す

・「ポー・ポー…」という音が聞こえたときは、受信操作をしなくても、自動的にファクスを受信することができます（ファクスおまかせ受信）。解除するときは99ページをご覧ください。

3 **受信がはじまるので、子機を充電器に戻す**

・ファクスを受信すると、自動的に電話が切れます。

■ **ファクス受信枚数・受信件数について**
A4サイズ700文字程度のモノクロ原稿（独自）を標準的な画質（8 × 3.85 本／mm）で本体にメモリーしたとき、約99枚または99件までファクス受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります。

■ **メモリーがいっぱいになったときは**
受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（［ファクス通信エラー］または［ファクスの容量不足のため、受信できません。］と画面に表示されます）。ファクス受信した内容を消去してください。

■ **本体の内部メモリーの残量を確認するには（内部メモリー使用容量確認 ☞69ページ）**

―＜お知らせ＞―

● 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたときは、電話を受けても無音の場合があります。呼びかけて応答がないことを確認してから、本体、または子機のファクス受信操作を行ってください。

受信したファクスをディスプレイで見る

受信したファクスをディスプレイに表示して確認することができます。新しく受信したファクスがあるときは、ホームメニュー画面などに「ファクスがありました →お知らせへ」とガイダンスが表示されます。

受信したファクスをディスプレイに表示する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[ファクス] をタッチする

2 [ファクスを見る] をタッチする
・ファクス受信されているファクスの一覧が画面に表示されます。
・ホームメニューで〔お知らせ〕→〔表示切替〕→〔受信ファクス〕の順にタッチして、表示することもできます。

3 確認したい受信ファクスを選ぶ
・受信したファクスデータを確認します（☞右記）。

4 確認が終わったら、[戻る] をタッチする

受信したファクスデータを確認する

受信したファクスは、下記のように表示されます。受信内容が複数ページあるときは、１ページ目が表示されます。

① 倍率
現在表示している倍率を表示しています。
〔ー〕をタッチするたびに縮小、〔＋〕をタッチするたびに拡大します（20段階）。

② ページ／総ページ
現在表示しているページ／総ページを表示しています。
＜ をタッチすると前ページ、＞ をタッチすると次ページを表示します。

③〔回転〕
タッチするたびに、表示部分が右回りに90度ずつ回転します。

④〔横フィット〕
受信データの横幅を画面に合わせて表示します。

⑤ 上下左右キー
表示している部分をタッチした方向に動かします（スクロール）。

何もタッチせずに５秒経過すると、自動的にキー表示が消えます。その状態で、画面にタッチしたまま指を動かすと、画面がスクロールします。〔キー表示〕をタッチすると再度キーが表示されます。

＜お知らせ＞

● A4サイズの長さを超える受信ファクスは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、送信される方に２ページに分けて送信していただくことなどをご依頼ください。

受信ファクスデータを消去する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[ファクス] をタッチする

2 [ファクスを見る] をタッチする

- ホームメニューで〔お知らせ〕→〔表示切替〕→〔受信ファクス〕の順にタッチして、表示することもできます。

3 [消去メニュー] をタッチし、消去したい受信ファクスを選ぶ

4 [消去] → [はい] の順にタッチする

- 消去途中に〔キャンセル〕をタッチすると、〔キャンセル〕をタッチするまでの受信ファクスデータが消去されます。

■ すべての受信ファクスを消去するときは（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞97ページ）

メモリーカードにファクスデータを保存する

本体に保存されている受信ファクスデータをメモリーカードに保存することができます。保存した受信ファクスデータは、パソコンなどで確認したり、印刷したりすることができます。

メモリーカードに受信ファクスデータを保存する

受信ファクスデータは右記のように保存されます。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[ファクス] をタッチする

2 [ファクスを見る] → [カードへ保存] の順にタッチする

3 保存したい受信ファクスを選ぶ

4 [保存]をタッチする

5 ○ 保存したファクスを本体から消去するときは：
[はい] をタッチする
○ 保存したファクスを本体から消去しないときは：
[いいえ] をタッチする

● 保存ファイル形式：JPEG形式
・保存すると、JPEG形式のデータがメモリーカードに保存されます。
● 保存先：PRIVATE\SHARP\FAX\IMAGE\yymddkkk\
・yymddには、日付が入ります。yyは西暦（下2ケタ）、mは月（1〜C）、ddは日です。
・kkkには、保存した順に001〜099の数字が連番で入ります（件数）。
● 保存ファイル名：hhmmsspp.jpg
・hhmmssには、時刻が入ります。hhは時間、mmは分、ssは秒です。
・ppには、保存した順に01〜99の数字が連番で入ります（ファクスの枚数）。

―<お知らせ>―
● 受信ファクスデータの保存中は、メモリーカードを取り外さないでください。本体やメモリーカードが破損することがあります。
● 保存には時間がかかることがあります。
● メモリーカードに保存したファクスデータは、本体のフォト一覧やフォトスライドで表示することはできません。

ファクスを送る

メモリーカードに保存されている写真データや携帯電話などの写真データをファクス送信することができます。
自分の番号や名前を登録してください（☞右記）。

ファクスを送る

メモリーカードの写真データをファクスするときは、使用するメモリーカードを取り付けておいてください（☞42、49ページ）。
携帯電話などの写真データをファクスするときは、携帯電話の赤外線通信（IrSS通信）で写真が送信できるようにしておいてください。

1 **画面をタッチしてホームメニューにし、[ファクス] をタッチする**

2 **[ファクスを送る] をタッチする**

3 **○ メモリーカードの写真データをファクスするときは：[メモリーカードからファクスを送る] をタッチして、送信したい写真を選ぶ**
○ 携帯電話などの写真データをファクスするときは：[赤外線通信でファクスを送る] をタッチして、本体前面の赤外線通信ポートの正面に、携帯電話などの赤外線通信ポートを向けて赤外線通信する

4 **送信するファクスを確認する**
・送信したい写真データを確認する（☞55ページ）

5 **[次へ] をタッチして、電話をかけたい相手の方を選ぶ**
・前回利用した電話メニューの画面が表示されます。[表示切替] をタッチして、他の方法でダイヤルすることもできます。

6 **子機を充電器から取り、（通話ボタン）を押す**

7 **相手の方とお話しして、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう**

8 **「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、本体で [ファクスを送信] をタッチする**
・送信がはじまります。
・送信が終わると「ファクスを送信しました」と音声でお知らせします。
・子機で操作してファクスを送ることもできます。
（十字キー）を押し、[FAX送信] を選び、（十字キー）を押してください。

9 **送信が終わったら子機を充電器に戻す**
・ファクスを送信すると自動的に電話が切れます。

■ あなたの電話番号（発信元番号）を登録する（本体）

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙に印刷されます。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする
② ≪ファクス≫ → [発信元番号登録] の順にタッチする
③ 電話番号を入力し、[登録] をタッチする（最大20ケタ）

■ あなたの名前（発信元名）を登録する（本体）

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙に印刷されます。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする
② ≪ファクス≫ → [発信元名登録] の順にタッチする
③ 名前を入力し、[決定] をタッチして入力を確定させ、再度 [決定] をタッチする（最大全角10文字）
・文字を入力する（☞29ページ）

■「ファクス通信エラー」と表示されたら（☞91ページ）

■ 送信できる写真データのファイル形式について

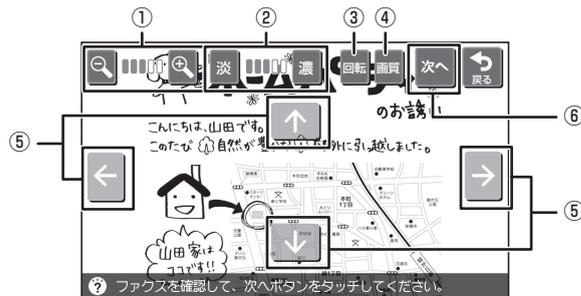
JPEG 形式のファイル（Exif 規格に対応）を送信できます。パソコンで加工したJPEGファイルは、送信できない場合があります。

■ 赤外線通信がうまくいかないときは

赤外線通信のしかたを確認してください（☞47ページ）。
・それでもうまくいかないときは（☞48ページ）

―＜お知らせ＞―
● 写真データはすべて白黒画像で送信されます。
● 国際通話や国際通信については、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。
● 本体で受信し、メモリーカードに保存したファクスデータを送信することはできません。
● 写真データを文字モードで送信すると、画像によっては画質が劣化することがあります。

送信したい写真データを確認する

送信したい写真データを取り込んだあと、ファクスを送る前に、送信する写真データの確認や、写真データの種類に合わせて画質や濃さを選ぶことができます。

① 倍率
　現在表示している倍率を表示しています。
　［－］をタッチするたびに縮小、［＋］をタッチするたびに拡大します（20段階）。
② 濃度設定
　現在の濃度を表示しています（5段階）。
　［淡］をタッチするたびに薄く、［濃］をタッチするたびに濃くします。［画質］の設定が文字モードのときのみ表示されます。
③［回転］
　タッチするたびに、表示部分が右回りに90度ずつ回転します。
④［画質］
　タッチするたびに、画質が文字モード ⇔ 写真モードと切り替わります。
⑤ 上下左右キー
　表示している部分をタッチした方向に動かします（スクロール）。
⑥［次へ］
　送信ファクスの確認を終了し、相手先へ電話をかける画面に移動します。

濃度設定と［画質］の設定が送信する写真データに反映されます。何もタッチせずに５秒経過すると、自動的にキー表示が消えて、指で画面をスクロールすることができます。［キー表示］をタッチすると再度キーが表示されます。

お知らせの一覧を表示する（お知らせ）

メッセージ、着信記録、受信ファクスの最新のものから最大149件表示されます。留守中などにかかってきた電話※をかんたんに確認することができます。

※ ナンバー・ディスプレイをご契約のときは、相手の方の名前や電話番号が表示されます（着信記録 ☞77～78ページ）。ただし、キャッチホンの場合を除きます。

お知らせを確認する

ホームメニューで［お知らせ］をタッチすると、お知らせの一覧が表示されます。

① NEWマーク
新着や未確認のメッセージ、受信ファクスがある場合に表示されます。

② 受信ファクスマーク
タッチすると、受信ファクス確認画面を表示します（☞51ページ）。

③ メッセージマーク
タッチすると、メッセージを再生します（☞39ページ）。

④ 着信記録マーク
ナンバー・ディスプレイをご契約のときは着信記録マークをタッチすると、相手先にそのままダイヤルできます。

［表示切替］をタッチすると、メッセージ一覧画面、着信記録画面、受信ファクス画面に表示を切り替えることができます。

■ **本体の着信記録を使って電話をかけるには（ナンバー・ディスプレイの契約が必要です）（☞77～78ページ）**

―＜お知らせ＞―

- お知らせの一覧を最新のものから表示するには、日付と時刻の設定をしてください。
- 本体では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- 本体では、［非通知お断り］［公衆電話お断り］［表示圏外お断り］［お断り番号］を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 各種お断りに設定した番号からかかってきたときもお知らせに表示されます。
- メッセージや受信ファクスの場合は、着信記録も同時に表示されることがあります。

音の設定を変える（子機）

子機から鳴る音の音量や種類などを設定できます。

着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときの着信音の大きさを変えたり、着信音を鳴らさないようにすることができます。

1 **を押し、** **で［着信音量］を選ぶ**

2 **を押し、** **で着信音量を５段階の音量、または［切］**（着信音を鳴らさないようにする）**から選ぶ**

・はじめは［３／５段階］に設定されています。
・［切］にすると、ディスプレイに 着信音切 が表示されます。

3 **を押す**

着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の種類を変えることができます（10種類）。ただし、他の子機からの呼出音は変わりません。

1 **を押し、** **で［着信音色］を選ぶ**

2 **を押し、で着信音の種類を選ぶ**

・選択している着信音がスピーカーから鳴りますので、音を聞きながら設定してください。
・はじめは「プルルル　プルルル」に設定されています。

1	プルルル　プルルル
2	ポロロロ　ポロロロ
3	ピロン　ピロン
4	ショートメロディ１
5	ショートメロディ２
6	ショートメロディ３
7	ショートメロディ４
8	ショートメロディ５
9	ジムノペディ
10	ジュピター

3 **を押す**

＜お知らせ＞

● 着信音を鳴らさない設定にしていても、他の子機から内線呼び出しがあったときは、［１／５段階］の音量で鳴ります。
● 着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。
●「誰からコール」（☞76ページ）を設定していると、固有の着信音が鳴ります。
● 本体では着信音は鳴りません。

受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に 音量 を押して音量を選ぶ（5段階）

・ はじめは［3／5段階］に設定されています。

通話音質を変える

受話口から聞こえてくる音質を変更できます。

1 通話中に を押す（押すごとに切替）

○ [高い]（高音を強調する）
○ [低い]（低音を強調する）
○ [標準]

・［標準］を選ぶと「ピピッ」と鳴ります。
・ 通話を終了しても設定は変わりません。

スピーカー音量を変える

スピーカー通話中やメッセージ再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

1

を押す

2 音量 を押して音量を選ぶ（5段階）

・ はじめは［3／5段階］に設定されています。

IP電話やADSL、ISDN（INSネット64）などをご利用のときに、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなることがあります。
このようなときには、「子機送話音量を調整する」「子機受話音量を調整する」をそれぞれ［小］に設定すると、通話品質が改善されることがあります。（☞98ページ）

日付と時刻を設定する

設定した日時に誤差が生じたときなど、日付と時刻を設定することができます。本体の日付と時刻を設定すると、自動的に子機に転送されます。

本体の日付と時刻を合わせる

日付や時刻表示を合わせるときは、次の操作を行います。

1 **画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする**

2 **≪一般設定≫ → 次ページキー（ ▷ ）→ [日付・時刻設定] の順にタッチする**

3 **日付を入力する**

- 1ケタの数字のときは頭に0を入力してください。
- 2009年10月29日に設定したいときは、「20091029」と入力してください。
- 変更したい数値をタッチして年・月・日をそれぞれ単独で変更することもできます。

4 **時刻を入力する**

- 時刻は、24時間制で入力します。
- 変更したい数値をタッチして時・分をそれぞれ単独で変更することもできます。

5 **[登録] をタッチする**

- 本体の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が転送されます（時計バックアップ（☞99ページ）が、[使用する] に設定されているときのみ）。子機に日付や時刻を登録していても、自動的に本体の日付・時刻設定が転送されて子機に上書きされます。

■ 日付・時刻を間違って入力したときは

間違えた日付・時刻の数値をタッチして、あらためて入力してください。

■ 停電などで本体の日時登録が消えたときは

電源が入ると、自動的に子機から日付や時刻を転送して、本体の日時を登録します。

■ 子機の日付と時刻を合わせる

子機の日時を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。

① を押す

② で [システム設定] を選び、 を押す

③ で [日時登録] を選び、 を押す

④ ダイヤルボタンで日付を入力する
- 1ケタの数字のときは頭に0を入力してください。
- 2009年10月29日に設定したいときは、「20091029」と入力してください。

⑤ ダイヤルボタンで時刻を入力する
- 時刻は、24時間制で入力します。

⑥ を押す

＜お知らせ＞

● 時計の精度は、1カ月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。

迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、電話を切りやすくしたり（チャイムでお断り、メッセージでお断り）通話を録音しているとアピールしたり（録音でお断り）することができます。

○ **チャイムでお断り**
チャイムが鳴るので、「すみません、来客ですので失礼します」などと伝えて電話を切るきっかけを作ります。

○ **メッセージでお断り**
「この電話はお受けすることはできません」と3回流れ、自動的に電話が切れます。

○ **録音でお断り（子機のみ）**
この機能を操作すると、操作する15秒前から録音されている相手の通話内容を、すぐに再生して相手に聞かせることができます。
再生終了後に自動的に電話が切れます（再生後は保存しません）。

本体でお断りする

1 **通話中に使用したいお断りの種類を**
○ [チャイムでお断り]
○ [メッセージでお断り]
から選ぶ

子機でお断りする

1 **通話中に** **を押す**

2 **でお断りの種類を**
○ [チャイムでお断り]
○ [メッセージお断り]
○ [録音でお断り]
から選び、 **を押す**

■ **間違えて操作したときは**
「メッセージでお断り」の操作をしたとき：
本体では、途中で止めることはできません。
子機で「メッセージでお断り」を操作したときは、お断りメッセージが流れている間に または スピーカーホン（発信） を押します。
「録音でお断り」の操作をしたとき：
「録音でお断り」を操作したときは、録音内容が再生されている間に を押してください。

ナンバー・ディスプレイ（☞74ページ）の契約をしていると…

メッセージでお断り、録音でお断りをした場合は…

○ **相手の方が電話番号を通知していたときは…**
電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号（☞81ページ）に登録し、以降の同じ番号からの着信をお断りします。

○ **相手の方が非通知／公衆電話／表示圏外からの電話のときは…**
非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があった場合は、約２時間、同じ種別の着信をお断りします。

設定後、相手から電話があったときは…
本機側：子機の着信音は鳴りません。
相手側：かけてきた相手の電話に合わせたお断りメッセージが流れ、自動的に電話が切れます。

■ 間違って相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは

登録されてしまったお断り番号を消去してください（☞81ページ）。

■ 間違って非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されてしまったときは

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を、〔なし〕に設定してください（☞80ページ）。

―＜お知らせ＞―

- ●キャッチホンでの通話中は、お断りの機能は働きません。
- ●こちらから電話をかけたときは、「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。
- ●子機で「録音でお断り」を再生中に（切）を押したり充電器に戻したりすると、再生を中断して通話を終了します。最後まで再生したいときは、再生が終わるのを確認してから充電器に戻してください。

その他の機能

子機と子機の間でお話しする（内線通話）

子機と子機の間でお話しすることができます。通話料はかかりません。

子機から子機を呼び出してお話しする

内線通話は、子機を2台以上お使いのときにご使用になれます。

1 子機を充電器から取り、内線/消去 保留 を押す

2 相手の子機の内線番号（1あ ～ 4た）を押す

・ 約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
・ 子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。相手の子機が使用者名を登録（☞71ページ）していると、その名前が表示されます。通話したい子機の使用者名を で選んで を押してください。
・ 一斉呼び出しはできません。

3 相手の方とお話しする

・ 子機と子機の間での内線通話は本体を通して行われますので、子機と子機が近くても、どちらかが本体から離れているときは、通話できないことがあります。

4 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

■ **内線通話を受ける**

① 呼出音が鳴ったら、子機を充電器から取る

・子機を充電器に置いていないときは、 を押してください。

② 相手の方とお話しする

③ 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

・内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに を押してください。呼出音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

■ **内線通話中に外から電話がかかってきたら**

スピーカーから「ピピッ ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

① を押す

② 子機の着信音が鳴ったら、 を押す

＜お知らせ＞

● 内線通話では、保留はできません。
● 内線通話の着信音の種類を変えることはできません。
● 子機の着信音量を〔切〕に設定していても、内線通話の着信音は〔1／5段階〕の音量で鳴ります。
● 内線通話でスピーカーホンにすると、相手側で声が響いて聞こえにくいことがあります。

電話をとりつぐ／3人で電話でお話しする（3者通話）

電話がかかってきたときに、子機から他の子機へと電話をとりつぐことができます。また、外の相手の方とお話し中に、内線電話と外の相手との３人でお話しすることもできます。
子機と子機での内線通話は、子機を2台以上お使いのときにご使用になれます。

子機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

1 **通話中に子機の 内線/消去 保留 を押す**

・相手の方は保留状態になります。

2 **とりつぎ／3者通話したい相手の子機の内線番号（ 1 あ ～ 4 た ）を押す**

・呼び出された子機は、呼出音が鳴ったら、充電器から子機を取ってください（子機を充電器に置いていないときは を押してください）。
・呼び出し中、または通話中に外線通話に戻るときは、内線/消去 保留 を2回押してください。または 内線/消去 保留 を押したあと、 を押してください。
・約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。相手の子機が使用者名を登録（☞71ページ）していると、その名前が表示されます。通話したい子機の使用者名を で選んで を押してください。
・内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに を押してください。呼出音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

3 **内線通話でお話しする**
○ 電話をとりつぐときは：手順4へ
○ 3者通話するときは：手順5へ

4 **電話をとりつぐことを伝え、 を押す**

5 **を押し、外の相手の方と3人でお話しする**

・呼び出された子機で を押しても、3者通話はできません。
・内線の一方が電話を切っても、もう一方の子機は続けて外線と通話ができます。
・3者通話中は、保留を行うことができません。3者通話している子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

■ 電話を自分ひとりでとりつぐときは（ひとり転送）
複数の子機をお使いのときは、かかってきた電話を自分ひとりで子機から他の子機にとりつぐことができます。

① 通話中に子機の 内線/消去 保留 を押す
② 子機を充電器に戻す、または を押す
　・3分経過すると本体から保留音が鳴ります。
③ 他の子機を充電器から取り、 を押す
④ 相手の方とお話しする

＜お知らせ＞
● 着信音を鳴らさない設定にしていても、内線からの着信音は「プルルル、プルルル」と鳴ります。

携帯電話へおトクにかける（携帯とくとくダイヤル機能）

携帯電話へ電話をかけるとき、番号の前に「事業者識別番号」（例：NTTコミュニケーションズ 0033など）を付けてダイヤルすることにより、各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。携帯電話への通話料金がおトクになるサービスとして、各社が実施しています※。
電源を入れたあとに設定していれば（☞17～18ページ）、そのままお使いください。設定を変えたいときは、右記の手順で設定してください。

ひかり電話（NTT東日本、NTT西日本の光回線電話）では、電話会社(通信事業者)を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、設定しないでください（ [使用しない] のままでお使いください)。

IP電話をご利用の方へ

IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用の場合、携帯とくとくダイヤルをご利用になりたいときは、携帯電話に発信するときだけ、NTTなどの一般回線で発信する必要があります。
携帯電話に発信するときだけ自動的に一般回線にするときは、「携帯とくとくダイヤルご利用時にIP電話をご利用するときは（IP電話解除番号）」（☞65ページ）の設定でIP電話解除番号を登録してください。

※ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

携帯とくとくダイヤル機能を設定する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」を付けて発信することができます。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 ≪電話≫ → [携帯とくとくダイヤル設定] の順にタッチする

3 携帯とくとくダイヤルを
○ 使用するときは：[使用する] をタッチする → 手順4へ
○ 使用しないときは：[使用しない] をタッチする

4 携帯とくとくダイヤルを使用したい事業者をタッチする
○ NTTコミュニケーションズ0033を選ぶときは：
[NTTコミュニケーションズ 0033] をタッチする
○ その他事業者を選ぶときは：
[その他事業者] をタッチする → 手順5へ

5 事業者識別番号を入力し、[登録] をタッチする（最大6ケタ）
・ 事業者識別番号とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号のことです。

■ 一時的に携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは

解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

■ 携帯とくとくダイヤルの対象番号を追加するときは（「携帯とくとくダイヤルで利用する携帯番号帯登録」）

携帯とくとくダイヤル機能の利用対象となる携帯電話の番号先頭4ケタとしてあらかじめ登録されているのは「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。この対象番号は追加して登録することができます。番号を追加するときは、あらたに登録してください。番号は最大10件まで登録できます。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪電話≫ →〔携帯とくとくダイヤル設定〕→ 次ページキー（ ▷ ）→〔携帯番号帯登録〕の順にタッチする
③〔タッチして登録してください〕をタッチし、対象となる携帯電話の先頭４ケタの番号を入力して、〔登録〕をタッチする

・追加した番号を消去するときは、③で消去する番号をタッチして、〔はい〕をタッチしてください。

■ 携帯とくとくダイヤルご利用時にIP電話をご利用するときは（IP電話解除番号）

IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用の方が携帯とくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、自動的にNTTなどの一般回線で発信する必要があります。この選択を自動的に行うため、IP電話解除番号の設定が必要です（通常の発信はIP電話を利用して行われます）。IP電話をご利用でない方は、設定しないでください。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪電話≫ →〔携帯とくとくダイヤル設定〕→ 次ページキー（ ▷ ）→〔利用している（IP電話解除番号登録）〕の順にタッチする
③ IP電話解除番号を入力し、〔登録〕をタッチする（最大6ケタ）

・「IP電話解除番号」は、各IP電話事業者の指定する番号を入力してください（わからない場合は、各IP電話事業者にお問い合わせください）。

■ 携帯とくとくダイヤルの設定を確認するときは（携帯とくとくダイヤル機能の設定内容表示）

携帯とくとくダイヤル機能の利用設定および、IP電話の利用設定を確認することができます。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪電話≫ →〔携帯とくとくダイヤル設定〕→ 次ページキー（ ▷ ）→〔携帯とくとくダイヤル 設定内容表示〕の順にタッチする
③ 確認が終わったら、〔戻る〕をタッチする

<お知らせ>

● 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
● 通話先･通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
● 携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
● 本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
● 本サービスは、マイラインの対象になりません。
● 他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。

子機で通話内容を録音する（今から録音）

通話中の内容を録音することができます。通話内容のメモの代わりに使ったり、迷惑電話の内容を録音して相手に聞かせたりすることができます。
すべての録音を合わせて、最大約15分間または最大30件まで録音できます。

「今から録音」する

1 通話中に子機の を押す

・録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をはじめたことがわかりません。

2 で［今から録音］を選び、 を押す

3 録音が終わったら を押す

・メモリーがいっぱいになるとエラー音が鳴って自動的に終了します。
・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

通話中に再生する

1 通話中に子機の   を押す

2 で［録音再生］を選び、 を押す

・留守番電話の内容や通話録音した内容を通話中に再生することができます。
・途中でやめるとき：
・録音内容を再生するときは、未再生の録音以降から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

■ 録音再生中の通話について

通話中に録音した内容を再生しているときや、「戻って録音」（☞67ページ）を再生しているときは、こちらの声は相手に聞こえず、相手の声もこちらに聞こえません。

■ 通話が終わったあとで録音内容を再生するときは（☞39〜40ページ）

■ 録音内容を消去するときは（☞40〜41ページ）

■ 子機で［保存中］と表示されているときは

録音した内容を未再生録音として、メモリーに保存しています。保存が終了すると、続けて「今から録音」することができます。

<お知らせ>

● 内線通話や受話通話（☞22 ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。
● 通話中に「戻って録音」をしたとき、同じ通話で「今から録音」はできません。

子機で通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）

「戻って録音」すると、通話がはじまってから、「戻って録音」の操作をするまでの通話内容を、さかのぼって録音します。録音時間は、最大約15分間です（メモリー残量が100%の場合）。録音時間を変更することもできます（☞右記）。録音できる件数は、1回の通話につき1件です。
しつこいセールスなどの迷惑電話に対して、録音した内容をそのまま相手に聞かせて撃退する、といった使いかたもできます。通話が終わったあとで再生することもできます。

「戻って録音」をする

1 通話中に子機の を押す

2 で［戻って録音］を選び、 を押す

・録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をしたことがわかりません。

・操作を途中で止めるときは：

通話中に「戻って録音」を再生する

1 通話中、「戻って録音」したあと、子機の を押す

2 で［録音再生］を選び、 を押す

・「ただ今の録音内容を再生します」という音声が流れ、再生が開始されます。

・再生を途中でやめるとき：

■ **「戻って録音」の内容を消すときは**

通話中は「戻って録音」を消去することができません。
通話を終了し、保存が終了したら再生して個別に消去してください。

「戻って録音」を再生中に 内線/消去 保留 【1】と順に押す

■ **通話終了後、「戻って録音」を再生するときは**

通話が終わるとメモリーに保存され、未再生録音として保存されますので、本体または子機を使って再生してください（☞39〜40ページ）。

■ **「戻って録音」の仕組みについて**

本機では、常に通話内容を、一時的に録音しています。「戻って録音」は、この一時的に録音された内容を使用します。
一時的に録音している内容は、通話が終わると自動的に消去されますが、「戻って録音」すると、メモリーに保存するので消えません。

■ **「戻って録音」で録音できる時間を変更するときは**

工場出荷時の設定は〔15分〕です。
① 本体の画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ → 〔特別設定〕の順にタッチする
③ ≪留守関連≫ → 次ページキー（ ﹥ ）の順にタッチする
④ 戻って録音時間の〔1分〕〔3分〕〔15分〕から設定したい内容を選ぶ

―＜お知らせ＞―

● 通話中に「今から録音」をしたとき、同じ通話で「戻って録音」はできません。
●「戻って録音」をすると、一度でメモリーがいっぱいになることがあります。

本体をもっと便利に使う

■ キーロック

本体の操作を効かないようにして、本体のお手入れ中や、お子様がお手を触れたときなどの誤動作を防止できます。

キーロックを設定する

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② 〔キーロック〕をタッチする
・キーロック中は画面に「キーロック中です　解除は 1 と 2 を順にタッチしてください」と表示されます。
・この画面で何もタッチせずに 3 分経過するとフォトスライドがはじまります。フォトスライド画面で画面をタッチするとキーロック画面になります。
・キーロックは本体のみの操作です。キーロックを設定しても、子機の操作はロックできません。

キーロックを解除する

① 画面に「キーロック中です　解除は 1 と 2 を順にタッチしてください」と表示されているときに、画面に表示されている 1 と 2 を順にタッチする
・電話着信時は一時解除されます。

■ ディスプレイの明るさの調整

液晶ディスプレイの明るさを調整することができます。
工場出荷時の設定は〔3〕です。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ をタッチする
③ 表示の明るさの〔1〕～〔5〕から設定したい内容を選ぶ

■ 留守中の画面表示

留守設定中の液晶ディスプレイを消灯することができます。
工場出荷時の設定は〔表示する〕です。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪電話≫ →〔留守番電話の設定〕の順にタッチする
③ 留守中の画面表示の〔表示する〕〔表示しない〕から設定したい内容を選ぶ

■ 無操作時連続表示時間

液晶ディスプレイを表示する時間を設定します。何も操作せずに設定した時間が経過すると、液晶ディスプレイが消灯します。
工場出荷時の設定は〔3時間〕です。
表示切／入時刻設定（☞右記）をしている場合は、表示切／入時刻設定が優先されます。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ →〔無操作時連続表示時間〕の順にタッチする
③ 無操作時連続表示時間の〔5分〕〔30分〕〔1時間〕〔3時間〕〔常時表示〕から設定したい内容を選ぶ

・この設定によって液晶ディスプレイが消灯していても、電話を着信したり、画面を操作したりすると、液晶ディスプレイが点灯します。そのあと、設定した時間が経過すると再び消灯します。

■ 表示切／入時刻設定

表示切／入時刻を設定することで、省エネルギーに配慮した使いかたができます。
表示切時刻：設定した時刻になると、自動的に液晶ディスプレイが消灯します。工場出荷時の設定は〔11:00 pm〕です。
表示入時刻：設定した時刻になると、自動的に液晶ディスプレイが点灯します。工場出荷時の設定は〔07:00 am〕です。
工場出荷時の設定は〔設定しない〕です。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ →〔表示切／入時刻設定〕の順にタッチする。
③ 表示切／入時刻設定の〔設定する〕〔設定しない〕から設定したい内容を選ぶ

[設定する] にしたときは

① 表示切時刻設定の〔00:00 am〕～〔11:00 pm〕の間から設定したい内容を選ぶ
② 表示入時刻設定の〔00:00 am〕～〔11:00 pm〕の間から設定したい内容を選ぶ

・表示切／入時刻の設定をする前に、必ず時刻を設定してください。
・通話中や操作中は表示切時刻になっても消灯しません。操作終了後、自動的に液晶ディスプレイが消灯します。
・表示切時刻と表示入時刻に同じ時刻を設定すると、液晶ディスプレイは消灯します。
・設定した表示切時刻になって液晶ディスプレイが消灯していても、電話を着信したり、画面を操作したりすると、液晶ディスプレイが点灯します。そのあと、何も操作せずに約3分経過すると再び消灯します。

■ 内部メモリー使用容量確認

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ → 次ページキー（ ▷ ）→〔内部メモリー使用容量確認〕の順にタッチする

・内部メモリーは、各項目別々に記録されています。

子機をもっと便利に使う

■ **クイック通話**
子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は〔設定〕です。

① を押す

② で〔システム設定〕を選び、 を押す

③ で〔クイック通話〕を選び、 を押す

④ で〔解除〕または〔設定〕を選び、 を押す

・クイック通話を〔解除〕に設定すると、子機を充電器から取り上げても、本体は電話帳などを自動的に表示しません。

■ **キータッチ音出力**
子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。
工場出荷時の設定は〔設定〕です。

① を押す

② で〔システム設定〕を選び、 を押す

③ で〔キータッチ音出力〕を選び、 を押す

④ で〔解除〕または〔設定〕を選び、 を押す

■ **電波サポート**
子機の電波状況が悪くて雑音が入るときに設定すると改善される場合があります。
ただし、連続通話時間が約6時間から以下のようになります。
〔自動〕：約４～６時間
〔解除〕：約６時間
〔設定〕：約４時間
工場出荷時の設定は〔自動〕（電波状況が悪いときに自動的に電波サポートを行う設定）です。

① を押す

② で〔システム設定〕を選び、 を押す

③ で〔電波サポート〕を選び、 を押す

④ で〔自動〕、〔解除〕または〔設定〕を選び、 を押す

■ 使う人の名前を子機に登録する（使用者表示）

子機に使う人の名前を登録することができます。
登録した名前は、待受時にディスプレイに表示されます。

① を押す

② で［システム設定］を選び、 を押す

③ で［使用者表示］を選び、 を押す

④ ダイヤルボタンで名前を入力する（全角5文字／半角10文字まで）（☞29〜31ページ）

⑤ を押す

・子機に登録した名前を消去するときは、④で入力した文字を 内線/消去 保留 ですべて消してから、 を押してください。

■ 液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。

① を押す

② で［システム設定］を選び、 を押す

③ で［液晶濃度調整］を選び、 を押す

④ で調整して、 を押す

■ ダイヤルライト点灯

ダイヤルライトを点灯する／消灯するの設定ができます。

工場出荷時の設定は［設定］です。

① を押す

② で［システム設定］を選び、 を押す

③ で［ダイヤルライト点灯］を選び、 を押す

④ で［解除］または［設定］を選び、 を押す

■ キーロック

子機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。
子機のお手入れ中や、お子様がお手を触れたときなどによる誤動作を防止できます。

キーロックを設定する

① 待受画面で # 🔒 を［キーロック 設定しました］と表示されるまで押し続ける（3秒以上）

・キーロックを解除するまで、電話を受ける以外の操作はできません。

・キーロックは本体、子機それぞれで設定します。子機でキーロックを設定しても、本体や他の子機の操作はロックできません。

キーロックを解除する

① キーロックを設定しているときに # 🔒 を［キーロック 解除しました］と表示されるまで押し続ける（3秒以上）

キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ（子機）

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができるNTTのサービスです。キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができるNTTのサービスです。
ご利用には**NTTとの契約（有料）**が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

キャッチホンを利用する

1 **通話中に着信音が聞こえたら子機の 文字切替 キャッチ を押す**

2 **元の通話に戻るときはもう一度 文字切替 キャッチ を押す**

■ **キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは**
キャッチホンの切替時間を変えることができます（「キャッチホン切替時間」☞99ページ）。

■ **キャッチホン・ディスプレイの設定をする**
ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪電話／ファクス≫ をタッチする
④ キャッチホン・ディスプレイの［使用する］［使用しない］から設定したい内容を選ぶ

―＜お知らせ＞―

● キャッチホンでの通話中は、迷惑電話拒否機能（☞60～61ページ）は働きません。

子機を増やす

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大４台までです。
- **増設できる子機はJD-KS28、JD-KS25、JD-KS21、JD-KS17、JD-KS15、JD-KS11です**（☞96ページ）。
  他の子機は増設できませんのでご注意ください（2009年8月現在）。
- 増設登録中は、電話を受けることを含むすべての操作を行うことができません。

子機を増設する

別売の増設子機は、下記の操作で増設してください。

- 増設子機を本体のそばに用意してから操作してください。
- 操作の前に、増設子機を十分に充電してください。
- 増設後は、クイック通話を〔設定〕にしてください。操作のしかたは、増設子機に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 **画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする**

2 **≪一般設定≫ → [特別設定] の順にタッチする**

3 **≪電話／ファクス≫ → 次ページキー（ ▷ ）→ [子機増設] の順にタッチする**

4 **子機で増設の操作を行う**

例：JD-KS28の場合

① 背面の充電池ふたを取り外し、充電池をはずす
② 再び充電池を入れて、充電池ふたを取り付ける
③「子機 増設しますか？」と表示されたら、10秒以内に

 を押す

・表示が出ないときは、充電池を取り外すところからやり直してください。

詳しくは、増設子機に付属の子機増設登録操作説明書をご覧ください。

5 **本体で [子機を増設します] をタッチする**

■ 子機を減設する

① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ →〔特別設定〕の順にタッチする
③ ≪電話／ファクス≫ → 次ページキー（ ▷ ）→〔子機増設〕の順にタッチする
④〔子機を減設します〕をタッチする
⑤ 減設したい子機を選ぶ

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を表示部に表示させるサービスです。ご利用には、NTTとのご契約が必要です（有料）。ナンバー・ディスプレイサービスを使うことで、本機の「誰からコール」や「着信鳴り分け」機能などをご利用いただけます。

ナンバー・ディスプレイを契約すると…

○ **電話がかかってくると、相手の方の電話番号をディスプレイに表示します。**

本体の表示	子機の表示	着信情報
電話番号と	電話番号	電話帳に登録されていない相手の方が自分の番号を通知して電話をかけてきた場合
相手の方の名前と写真またはイメージ	相手の方の名前や番号	電話帳に登録されている相手の方が電話をかけてきた場合

○ **相手の電話番号がわからないときは、以下のように表示します。**

本体の表示	子機の表示	着信情報
?	［ - 非通知 - ］	相手の方が自分の番号を通知せずに電話をかけてきた場合
	［ - 表示圏外 - ］	相手の方が番号通知ができない地域や回線からかけてきた場合
	［ - 公衆電話 - ］	相手の方が公衆電話を使ってかけてきた場合
	［ (((着信))) ］	相手の方の着信情報が受信できなかった場合

ナンバー・ディスプレイを利用するには

<NTTをご利用の場合>

NTTと契約する（有料） → **本機の設定は、必要ありません** → **NTTの工事終了後にサービスが利用できます**

- 下記NTT窓口にお申し込みください。
- 工場出荷時は［使用する］に設定されています。
- 工事日数については、下記NTT窓口にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口
TEL：局番なしの
116（通話料金無料）

受付時間
NTT 東日本：9:00 ～ 21:00
NTT 西日本：9:00 ～ 17:00
土・日・祝も受付（年末・年始は除く）

● 電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります（2009.8）。

<NTT以外の電話会社をご利用の場合>

NTTのナンバー・ディスプレイ相当サービスの有無を各ご契約の電話会社にお問い合わせのうえ、お申し込みください。

■ **ナンバー・ディスプレイの使用する／使用しないを設定するときは**

工場出荷時は、ナンバー・ディスプレイの設定は［使用する］になっています。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪電話／ファクス≫ をタッチする
④ ナンバー・ディスプレイの［使用する］［使用しない］から設定したい内容を選ぶ

■ ネーム・ディスプレイを利用する

本機はネーム・ディスプレイのサービス（電話をかけてきた方の名前や会社名をディスプレイに表示させるサービス）をご利用になれます。ネーム・ディスプレイのご利用にはサービスの契約が必要です（詳しくは、局番なしの116にお問い合わせください）。

―<お知らせ>―

- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプターのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは［使用しない］に設定してください。

着信を子機の音声でお知らせする（誰からコール）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、相手の電話番号から自動的に判断し、本体の電話帳で登録した相手の名前や電話が誰からなのかを、子機の音声でお知らせします。工場出荷時は〔使用する〕に設定されています。

誰からコール

電話帳に登録している相手の方からの電話

「カナ」が発声できる	「○○からです」
「カナ」が発声できない	「お電話です」

その他

自分の電話を通知していない相手からの電話	「非通知です」
公衆電話	「公衆です」
番号通知できない地域や回線からの電話	「圏外です」

音声お知らせなし

・ナンバー･ディスプレイを設定していないときの電話
・誰からコールを〔使用しない〕に設定しているときの電話

※ 本体の電話帳に登録されている名前を音声でお知らせします。子機の電話帳にのみ登録されている名前はお知らせしません。

誰からコールを使用する／使用しないを設定する

誰からコールを使用する／使用しないの設定ができます。工場出荷時は〔使用する〕に設定されています。

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 ≪電話≫ → 次ページキー（ ▷ ）の順にタッチする

3 誰からコールを
○ 使用するときは：[使用する] をタッチする
○ 使用しないときは：[使用しない] をタッチする

＜お知らせ＞

- 本体では、着信音や音声によるお知らせはできません。
- 誰からコールでは、電話帳の「カナ」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声しないことがあります。
- 誰からコールの音声は、音声合成システムで作ったものです。人の声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。
- 誰からコールを使用しているときは、着信音の種類を変更していても、固有の着信音で鳴ります。
- 誰からコールを使用しているときは、着信鳴り分けは使用できません。
- 内線通話中の電話や、キャッチホンでは、誰からコールは働きません。

着信記録（着信履歴）を使う

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

着信記録として保存された番号を確認することができます。

保存できる着信記録は最大20件までです。20件を超えると、古い着信記録から消去されます。

本体の着信記録を確認する／着信記録を使って電話をかける

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[お知らせ] → [表示切替] → [着信記録] の順にタッチする

・ ホームメニューで〔電話〕→〔表示切替〕→〔再ダイヤル〕→〔着信記録〕の順にタッチして、表示することもできます。

2 ○ 着信記録を確認するときは：
確認が終わったら、[ホーム] をタッチする
○ 着信記録で電話をかけるときは：
電話をかけたい相手先を選ぶ → 手順3へ

3 子機を充電器から取り、 を押す

4 相手の方とお話しする

・ 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

5 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

■ 本体の着信記録をすべて消すときは（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞97ページ）

■ 本体の着信記録を電話帳に登録するには（☞25ページ）

ナンバー・ディスプレイ

―＜お知らせ＞―

● 着信記録は本体と子機、別々に記録しています。
● 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
● 本体では、〔非通知お断り〕〔公衆電話お断り〕〔表示圏外お断り〕〔お断り番号〕を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
● 本体では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
● 本体の着信記録は、1件ずつ消去できません。

子機の着信記録を確認する／着信記録を使って電話をかける

1 子機を充電器から取り、 を押す

2 で番号を選ぶ

○ 着信記録を確認するときは：確認が終わったら、 を押す、または充電器に戻す

○ 着信記録で電話をかけるときは：手順3へ

3 を押す

4 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

■ 子機の着信記録に184（非通知）や186（通知）を付けて電話をかけるときは（特番ダイヤル）

184や186などの番号を、着信記録の前に入れてダイヤルします。

① を押す

② で番号を選び、 を押す

③ で［特番ダイヤル］を選び、 を押す

④ 184や186などの番号を入力（8ケタまで）して を押す

⑤ 通話が終わったら を押す、または充電器に戻す

■ 子機の着信記録を1件ずつ消すときは

① を押す

② で消去したい番号を選び、 を押す

③ で［1件消去］を選び、 を2回押す

■ 子機の着信記録をすべて消すときは

① を押す

② で［全消去］を選び、 を押す

③ で［着信記録］を選び、 を2回押す

<お知らせ>

● 着信記録は本体と子機、別々に記録しています。

着信の種類によって子機の着信音を変える（着信鳴り分け）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。「電話帳に登録している方」、「非通知」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 ☞74ページ）、「公衆電話」、「表示圏外」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 ☞74ページ）の着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。はじめは設定されていません。

着信鳴り分けは、「誰からコール」（☞76ページ）との併用はできません。

着信鳴り分けを設定したとき

着信鳴り分けを設定すると、着信の種類に合わせて右記の操作で設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、あらかじめ設定した着信音（☞57ページ）が鳴ります。

鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

本体で「誰からコール」を設定しているときは、着信鳴り分けは働きません。ご使用になりたいときは、本体の操作で「誰からコール」を〔使用しない〕に設定してください（☞76ページ）。

1 子機の を押す

2 で [着信鳴り分け] を選び、 を押す

3 で着信の種類を

○[電話帳 ワンタッチ]
○[非通知]
○[公衆電話]
○[表示圏外]

から選び、を押す

4 で着信音を聞きながら選ぶ

・鳴り分け用として設定できる着信音は、「着信音の種類を変える」（☞57ページ）で設定できるものと同じです。

・着信鳴り分けを解除するときは、 で〔解除〕を選んでください（「ピピッ」と鳴ります）。

5 を押す

＜お知らせ＞

● かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。

非通知・公衆電話・表示圏外からの着信を拒否する（着信お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

「非通知の電話」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 ☞74ページ）「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 ☞74ページ）に対して着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます。
工場出荷時は設定されていません。

非通知／公衆電話／表示圏外お断り

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 ≪電話≫ → [着信お断りの設定] の順にタッチする

3 設定したいお断りの [お断り] をタッチする

・ 非通知お断りを〔お断り〕に設定すると、非通知の電話には、「この電話は、お受けすることはできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直しください」と３回流れて電話が切れます。
・ 公衆電話お断り、表示圏外お断りを〔お断り〕に設定すると、公衆電話または表示圏外からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と３回流れて電話が切れます。

<お知らせ>

● お断りの設定をした相手からの電話は、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。
● お断り設定をした相手からの電話は、本体にのみ着信記録が残ります。

特定の番号からの着信を拒否する（特定番号お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

お断りしたい番号を登録する

1 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする

2 ≪電話≫ → [着信お断りの設定] → [お断り番号登録] → [タッチして登録してください] の順にタッチする

3 電話番号を入力し、[登録] をタッチする（最大20ケタ）

・ お断り番号を登録すると、登録した相手の方からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

■ **登録したお断り番号を1件ずつ消すときは**

① 画面をタッチしてホームメニューにし、[設定] をタッチする
② ≪電話≫ → [着信お断りの設定] → [お断り番号登録] の順にタッチする
③ 消去したい電話番号を選び、[はい] をタッチする

■ **登録したお断り番号をすべて消すときは（内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）☞97ページ）**

—＜お知らせ＞—

● お断り番号に登録されている相手からの電話は、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください。
● お断り設定をした相手からの電話は、本体にのみ着信記録が残ります。

電話がかけられない

どこにも電話がかけられない

取り付けの手順に従って、ACコードとACアダプター、電話機コードが正しくつながっているかを確かめます（☞15ページ）

本機を設置時に、ご契約の回線種別に自動で設定されますが、まれに正しく設定されないことがあります
ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞19ページ）

電話をかける
・つながったらこのままお使いください
・特定の番号や携帯電話にかけられないときは、「特定の番号にかけられない」（☞右記）や「携帯電話にかけられない」（☞83ページ）をご覧ください

それでもつながらない

引っ越しの直後など回線の工事が完了していないことがあります
ご契約と工事の日程を確認してください

特定の番号にかけられない

例：フリーダイヤル（0120〜）、ナビダイヤル（0570〜）など

IP電話（ADSLなど）または光電話（NTTのひかり電話など）のどちらかを契約されていますか？

光電話（NTTのひかり電話など）を契約している

光電話（NTTのひかり電話など）を契約している場合は、特定の番号にかけることができません
（例：ナビダイヤル 0570〜など）
詳しくは、ご契約の光電話会社にご確認ください

IP電話（ADSLなど）を契約している

NTTなどの一般加入回線も同時に契約されていますか?

契約していない

NTTなどの一般加入回線を同時に契約していない場合は、特定の番号にかけることができません
（例：フリーダイヤル0120〜ナビダイヤル0570〜 など）
詳しくは、ご契約のIP電話会社にご確認ください

契約している

本機を設置時に、ご契約の回線種別に自動で設定されますが、IP電話をご利用の場合は正しく設定されないことがあります
ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞19ページ）

それでもつながらない

一般加入回線を選択するための「IP電話解除番号」をダイヤルしないとつながらない番号があります
「IP電話解除番号」をダイヤルしてから相手の番号をダイヤルしてください

ご契約の電話会社またはサービス会社とは？

通話料金や電話サービスの請求書を送ってくる会社です。

子機の（通話ボタン）を押してからダイヤルや番号の選択に時間がかかると、電話をかけられなくなることがあります。
操作に時間がかかるときは、先にダイヤルや番号選択をしてから子機の（通話ボタン）を押してください。

携帯電話にかけられない

IP電話（ADSLなど）や光電話（NTTのひかり電話など）を契約されていますか？

契約していない

「携帯とくとくダイヤル機能」の設定で電話会社（通信事業者）が合っていないとつながりません

正しい電話会社（通信事業者）に設定します（☞64ページ）

光電話（NTTのひかり電話など）を契約している

光電話（NTTのひかり電話など）をご契約の場合「携帯とくとくダイヤル機能」はご利用になれません

設定を「使用しない」に設定します
（☞64ページ）

IP電話（ADSLなど）を契約している

NTTなどの一般加入回線も同時に契約している

契約している

「携帯とくとくダイヤル機能」の電話会社（通信事業者）や「IP電話解除番号」が合っていないとつながりません

正しい電話会社（通信事業者）に設定します（☞64ページ）

契約していない

「携帯とくとくダイヤル機能」はご利用になれません

設定を「使用しない」に設定します
（☞64ページ）

携帯電話にかけます（通話料は有料）つながったら、設定は完了です

●それでもつながらない場合

電話会社によっては、かけられない電話番号や受けられない電話サービスがあります。ご契約の電話会社や電話サービス会社にご確認ください。

相手の声が聞こえにくい

相手の方の声が聞こえにくい

音が小さい／音が大きすぎる

受話音量を調整します（☞58、98ページ）

雑音が入る 相手の方の声がとぎれる 音が大きくなったり小さくなったりする

本体との距離や設置場所などお使いの環境をお確かめください
⇒「本機の取り扱いについて」をご覧ください（☞8～9ページ）

それでも雑音が入る場合は

電波干渉を起こしている可能性がありますので、回避チャンネルを変更してみてください（☞99ページ）

電波干渉を受けているときは、雑音が入ったり通話が切れてしまうことがありますが、いったん電話を切り、もう一度通話してみて、異常がなければ故障ではありません
また、本体との距離や設置場所などを変えてもう一度お確かめください

こちら側の声が相手に聞こえにくい

送話口（マイク）を手でふさいでいませんか？
回線の状態などによって、聞こえにくくなることがあります
⇒ 送話音量を大きくしてください（☞98ページ）

子機が使えない

動作しない

● 充電池のコネクターが外れていませんか？ ⇒ 正しく接続します。	20
● 充電池の残量が少なくなっていませんか？ ⇒ 充電器に子機を戻して充電します。	20

電話をかけられない／受けられない

● 本体のACアダプターやACコード、電話機コードは正しく接続されていますか？ ⇒ 正しく接続します。	15
● 別の所で他の子機を使用していませんか？ ⇒ 使用が終わってから電話をかけます。	—
● 無線LAN機器やルーターなどを、近くでお使いではありませんか？ ⇒ 本体、子機をそれらの機器からできるだけ離して設置してください。	15
● 停電になっていませんか？ ⇒ 停電のときは電話をかけることはできません。	—
● 子機のディスプレイに〔通話圏外〕と表示されていませんか？ ⇒ 子機を本体に近づけたあと、 を押してください。	—
⇒ 子機の充電池のコネクターを抜き差ししてください。	20
それでも使えないときは ● 本体との距離や設置場所などお使いの環境をお確かめください。 ⇒「本機の取り扱いについて」をご覧ください 。	8～9
● いっぱいに充電しても数分間の通話ですぐに子機が使えなくなるときは ⇒ 充電池の寿命です。充電池を交換してください。	21

充電できない

● 充電池は入っていますか？	20
● 充電池のコネクターが外れていませんか？	20
● 充電器の差し込みプラグがコンセントから外れていませんか？ ⇒ 正しく接続します。	20

着信音が鳴らない／留守モードが正しく働かない

着信音が鳴らない

● 着信音を〔着信音量　切〕にしていませんか？ ⇒ 着信音を大きくします。	57
● 子機のディスプレイに〔通話圏外〕と表示されていませんか？ ⇒ 子機を本体に近づけたあと、（ボタン）を押してください。	―
● 各種お断りを設定していませんか？ ⇒ お断りを使用しない設定にします。	80～81

用件録音できない／ファクスが受けられない

● 着信するまでの回数が長いとファクス受信できないことがあります。 ⇒ 留守時応答回数を現在の回数より少なくします。	41
● 相手の声が小さいときや、用件が短いときは、途中でとぎれたり録音されないことがあります。	―

メモリーカードが使えない

メモリーカードを認識しない

● メモリーカードはしっかりとセットされていますか？ ⇒ メモリーカードは表裏を確認したうえで、しっかりと奥まで差し込んでください。	42
● 使用可能なメモリーカードをお使いですか？ ⇒ 使用可能なメモリーカードをご使用ください。	49
● もう一度メモリーカードを抜き差ししてください。 ⇒ それでも使えない場合は、メモリーカードや本体の読み込み部が故障している可能性があります。	―

メモリーカードに保存できない

● メモリーカードがロックされていませんか？ ⇒ ロックを解除してから、本体にセットしてお使いください。	49
● メモリーカードの容量がいっぱいになっていませんか？ ⇒ パソコンなどで不要なデータを消去してください。	―

メモリーカードの読み込みに時間がかかる

● メモリーカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。	―

ナンバー・ディスプレイが使えない

相手の方の番号を表示しない

● ナンバー･ディスプレイを契約していますか？ ⇒ ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 （局番なしの116番へお問い合わせください）	—
● NTTとの契約が済んで、工事は完了していますか？ ⇒ 局番なしの116番へお問い合わせください。	—
● 構内交換機やホームテレホンに接続していませんか？ ⇒ 構内交換機やホームテレホンに接続していると表示できません。	—
● ナンバー･ディスプレイの設定が［使用しない］になっていませんか？ ⇒ ナンバー･ディスプレイを［使用する］に設定してください。	74
● ひかり電話などの光回線やIP電話を利用していませんか？ ⇒ 各契約会社へお問い合わせください。	—
● ISDNをご利用で、ターミナルアダプター（TA）がナンバー･ディスプレイ対応ですか？ ⇒ ターミナルアダプター（TA）がナンバー･ディスプレイ対応でないと表示できません。	—
⇒ ターミナルアダプター（TA）側でナンバー･ディスプレイを［使用する］に設定してください。	—

相手の方の名前を表示しない／着信音が変わらない

● 相手の方の電話番号を市外局番から登録しましたか？ ⇒ 相手の方の電話番号は市外局番から登録しないと鳴り分け機能や名前を表示できません。市外局番から入力してください。	24、27
●「誰からコール」が設定されていませんか？ ⇒「誰からコール」と鳴り分け機能は同時に利用できません。鳴り分け機能をご利用になるときは、「誰からコール」を［使用しない］に設定してください。	76

こちら側の電話番号が相手の方の電話機に表示されない

● こちら側の電話番号を「通常非通知」でご契約されていませんか？ ⇒ こちら側の電話番号を［通知する］には相手の方の電話番号の前に「186」をダイヤルしてください。	33
● 相手の方はナンバー・ディスプレイを契約されていますか？ ⇒ 相手の方がナンバー・ディスプレイをご契約されていないと、表示されません。	—

ファクスが送れない／ファクスが受けられない

ファクスを送れない

● 相手の方が非通知着信を拒否に設定していませんか？ ⇒ 相手の方の番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。	33
● 相手の方のファクスが記録紙切れなどで受信できる状態になっていないかもしれません。 ⇒ 相手の方に確認してください。	—

ファクスが受けられない

● 内部メモリーの容量がいっぱいになっていませんか？ ⇒ 不要な受信ファクスデータを消去してください。	52、97
● 留守設定などで、応答メッセージを流してファクスを受けるときは、「応答メッセージ待ち時間」や「発信音待ち時間」が短いと、受信できないことがあります。 ⇒ それぞれの待ち時間の設定を長くしてください。	98

子機の（通話ボタン）を押してからダイヤルや番号の選択に時間がかかると、電話をかけられなくなることがあります。操作に時間がかかるときは、先にダイヤルや番号選択をしてから子機の（通話ボタン）を押してください。

ADSLやひかり電話をご契約の方へ

ひかり電話などの光回線を利用していると…

ナンバー・ディスプレイが動作しない	⇒ ご契約の内容をご確認ください。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。	―

IP電話／ADSLを利用していると…

ファクスの送受信ができない **ナンバー・ディスプレイが動作しない** **電話の声が聞こえにくい・雑音が入る**	● スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。 また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるか確認してください。 ⇒ 改善されるときは、通信事業者にご相談ください。 ⇒ それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口にご相談ください。	 ― 106

ISDNを利用していると…

音がワンワン響く **音が大きすぎる**	● ターミナルアダプターの送話・受話音量を調節してください。 ⇒ それでも改善しないときは、ターミナルアダプターのメーカーへお問い合わせください。	―
ナンバー・ディスプレイが動作しない	● ターミナルアダプターの設定が必要です。 ⇒ ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。	―

その他 こまったときは

正しく操作しても動かない／動作がおかしい

● 電話機コードやACアダプター、ACコード、差し込みプラグが外れていませんか？ ⇒ 電話機コード、ACアダプター、ACコード、差し込みプラグをしっかりと接続します。 ● 電源を入れ直すと正常に動作することがあります。 ⇒ それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口にご相談ください。	 15 95 106

タッチパネルが正しく反応しない

● タッチに反応する位置がずれているときは、本体の電源を入れ直して、タッチパネルの調整をしてください。	95

登録していた日時が自動的に変更される

● 本体の日時登録を変更すると、自動的に子機の日時登録が上書きされます。 ⇒ 本体の日時登録を正しく設定します。 ● 本体の日時登録が間違っていても、本体の登録が優先されます。 ● 本体の日時登録を転送したくないときは。 ⇒ 時計バックアップを〔使用しない〕に設定してください。	 59 ― 99

誰からコールの音声が聞き取りにくい

● 子機の着信音量を調整することで、音量を調節することができます。 ● 音声合成システムで作った音なので、人の声に比べると聞き取りにくいことがあります。	57 ―

画面が突然消灯する

● 無操作時連続表示時間設定で設定されている時間が経過すると、自動的に液晶ディスプレイが消灯します。 ● 表示切／入時刻設定で設定した表示切時刻になると、自動的に液晶ディスプレイが消灯します。表示切時刻設定中は、手動でフォトスライドを実行しても、すぐに液晶ディスプレイが消灯することがあります。 ● 留守中の画面表示が〔表示しない〕に設定されているときは、留守設定することにより液晶ディスプレイが消灯します。	69 69 68

受信ファクスデータ、ファクス送信したい写真データの表示画質が悪い

● 受信ファクスデータや、ファクス送信したい写真データを特定の倍率で表示すると、表示上の画質が悪くなることがあります。	51、55

通話中などで、突然ファクスに切り替わる

● 声などに反応して、まれにファクスおまかせ受信が働くことがあります。 ⇒ 何度も続けて起こるときは、ファクスおまかせ受信を［なし］に設定します。	99

各種サービスを受けられない

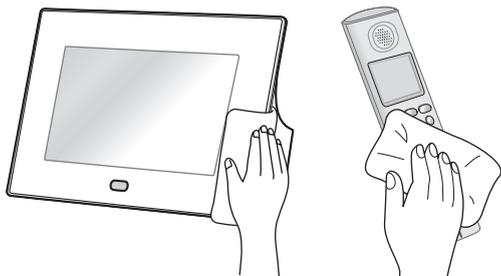
● ひかり電話などの光回線やIP電話では、受けられないサービスがあります。 ⇒ 各契約会社にお問い合わせください。	—

■ 停電になったときは

電話	● 電話を受けたり、かけたりすることはできません。 ● 本体や子機を使用することはできません。 ● 各種サービスは働きません。 ● ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。 ● 通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
留守番	● 留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。 ● 停電になっても、録音内容は消えません。
デジタルフォトフレーム	● 停電中は、写真表示できません。 ● 停電になっても、内部メモリーの写真データは消えません。 ● フォトスライドで内部メモリーが選択され、メモリーカードが挿入されているときは、再び電源を入れたときに、メモリーカードの写真が表示されます。
ファクス	● 停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。 ● 送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。 受信のときは、相手の方に再送信を依頼してください。 ● ファクス受信したデータは、停電になっても消えません。
登録した内容	● 電話帳などに登録されている内容は消えません。 ● 日付・時刻の設定は消えてしまいます。 子機の日付・時刻が設定されていて、本体の電波が届く範囲にある場合に、本体の時計バックアップを［使用する］に設定しているときは、子機から本体へ自動的に日付・時刻が転送されます（☞99ページ）。 転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください（☞59ページ）。

お手入れのしかた

本体や子機を清掃する

お手入れには、乾いた柔らかい布をお使いください。汚れがひどいときは、水にひたしてよくしぼった布で清掃してください。そのあと水分が残らないように乾いた布でからぶきしてください。

液晶ディスプレイ（タッチパネル）を清掃する

キーロック設定をしてください（☞68ページ）。
液晶ディスプレイ（タッチパネル）は乾いた柔らかい布（眼鏡ふきなど）で清掃してください。傷が付くことがありますので、お手入れに目の粗い布は使用しないでください。

＜お知らせ＞

● アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因になります。

エラー表示／エラー音について

お知らせやエラーメッセージを表示します。

<表示例>

お知らせ／エラー表示

	表示／エラー音	対応	参照ページ
か行	**子機使用中です**	● 子機を使用中です。子機の使用が終わるまでお待ちください。	－
	子機を増設します。子機で操作を行ってください。	● 本体が子機増設登録モードになっています。 ● 子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行うことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください（約30秒で子機増設モードは解除されます）。	73 －
さ行	**自動応答中**	● 留守モード中に電話がかかってきたときや、各種お断りに設定している相手先から電話がかかってきているときなどに、応答メッセージが流れて自動応答しています。	－
た行	**着信がありました→お知らせへ**	● 留守中などにかかってきた電話があります。［お知らせ］をタッチして確認してください。	56
	転送できないデータがあります。操作を続けますか？	● 本体に 25 ケタ以上の番号で登録している相手先があります。［はい］をタッチすると、その相手先以外のデータを転送します。	－
	転送できません	● 本体と子機が電波の届く範囲にありません。電波が届く範囲に近づけてから、操作をやり直してください。	8

	表示／エラー音	対応	参照ページ
な行	**内部メモリーの容量不足のため、保存を中止します**	● 内部メモリーの不要なデータを消去してください。	48
は行	**ファクスがありました →お知らせへ**	● 留守中などに受信した新しいファクスや、未確認のファクスがあります。［お知らせ］をタッチして確認してください。	51
	ファクス通信エラー	● 相手の方に確認のうえ、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます（1～15の番号は、当社のサービスマンが通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、当社のご相談窓口までご連絡ください）。	―
	ファクスの容量不足のため、受信できません。 ファクスの容量が残りわずかです	● ファクス受信した内容を消去します。	52
	保存中にエラーが発生したため、保存を中止します。	● 内部メモリーへのアクセス中に内部エラーが発生しました。もう一度やり直してください。	―

	表示／エラー音	対応	参照ページ
ま行	**メッセージがあります →お知らせへ**	● 留守中にあった新しいメッセージや、未再生のメッセージがあります。再生してください。	39～40
ら行	**録音できる残り時間がありません 録音できる時間が残りわずかです**	● 不要な録音メッセージを消去します。	39～41、97

メモリーカードを使用しているとき

表示／エラー音	対応	参照ページ
メモリーカードが書き込み禁止になっています	● メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされています。	49
メモリーカードの容量不足のため、保存を中止します。	● メモリーカードの容量がいっぱいです。	−
保存中にエラーが発生したため、保存を中止します。	● メモリーカードのアクセス中にエラーが発生しました。もう一度やり直してください。	−
メモリーカードが入っていないため、保存を中止します。	● メモリーカードが正しく取り付けられていません。	−

赤外線通信しているとき

表示／エラー音	対応	参照ページ
受信できませんでした	● 赤外線受信に失敗しました。もう一度やり直してください。	−
このデータは表示できません	● ファイル形式をご確認ください。	42

子機を使っているとき

表示／エラー音	対応	参照ページ
外線使用中	● 他の子機の使用中です。他の子機の使用が終わるまでお待ちください。	－
新着あり	● 未再生の留守録音があります。本体または子機を操作して、再生してください。	39～40
自動応答中	● 留守モードなどで、応答メッセージが流れて自動応答しています。	38
通話圏外	● 本体の差し込みプラグを接続してください。 ● 他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください。 ● 本体からの電波が届く範囲でご使用ください。 ● （ボタン）を押すと表示が消えて使えるようになることがあります。	15 8 － －

表示／エラー音	対応	参照ページ
「親機検索中」と表示する または「ピーピー」と鳴る	● 本体や増設子機が使用中です。 ● 本体のACコードやACアダプターを接続してください。 ● 他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください。 ● 本体からの電波が届く範囲でご使用ください。 ● 子機の充電池のコネクターを抜き差ししてください。	－ 15 8 － 20
「ピピピピ」	● 名前の文字数や日時登録の設定などが登録範囲を超えています。	－
「ピ ピ ッ …… ピ ピッ……」	● 充電器に子機を戻して充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。 ● 長時間充電しても、すぐに子機が使えなくなるときは、新しい充電池と交換してください。	20 96
子機で通話中に「ピーピー」と2回鳴ってすぐに切れる	● 雑音の少ないところでご使用ください。 ● 無線LANなどの近くでお使いのときは、それらの機器よりできるだけ離してお使いください。また「回避チャンネル設定」を変更してお使いください。	－ 99

子機を増設するとき

表示／エラー音	対応	参照ページ
失敗しました	● 子機の増設または減設に失敗しました。操作を最初からやり直してください。	73

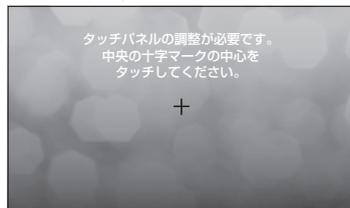
故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

・液晶ディスプレイ表示が化けている（意味不明の文字列や画像が表示されている）。
・液晶ディスプレイ画面が反応しない、タッチに正しく反応しない。
・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。
修理やアフターサービスをお申し付けになる前に、下記の操作をお試しください。
また、登録・設定した内容により、お客様の意図しない機能が働いている場合、工場出荷時の状態に戻すことで、症状が改善することがあります（☞97ページ）。

■ 本体の電源を入れ直す

ACアダプターを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。

・タッチパネルの確認をします。
調整が必要なときは、以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってタッチしてください。

・調整が正しく行われないと、タッチに反応する位置がずれたままになることがあります。タッチした項目とは違う項目が選択されるなど、タッチに反応する位置がずれているときは、もう一度本体の電源を入れて、タッチパネルを調整し直してください。
・本体の日付・時刻の設定は消えます。
子機が電波の届く範囲にあり、日付・時刻が設定されていれば、自動的に日付・時刻が転送されます（時計バックアップの設定が〔使用する〕のとき ☞99ページ）。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

電源を入れ直しても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、シャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）へお申し付けください。

■ 子機の充電池のコネクターを抜き差しする

子機の充電池のコネクターを抜いてもう一度接続してみてください（☞20ページ）。

・子機の日付・時刻の設定は消えます。
本体が電波の届く範囲にあり、日付・時刻が設定されていれば、自動的に日付・時刻が転送されます（時計バックアップの設定が〔使用する〕のとき ☞99ページ）。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

別売品／消耗品

別売品／消耗品として、次のものを用意しています。
このインテリアホンを長い間安心してお使いいただくためにも、当社の純正品や推奨品をお使いください。 なお、価格などは予告なく変更することがありますので、ご了承ください。別売品／消耗品のご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

品名	形名	部品コード	流通コード	希望小売価格
子機用充電池※（ニッケル水素電池）	A-002	UBATMA002AFZZ	142 932 0070	1,800 円（税抜価格1,715円）

※ シャープエンジニアリング（株）扱い

品名	形名	希望小売価格
増設子機（☞73ページ）	JD-KS11	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS15	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS17	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS21	19,950円（税抜価格19,000円）
	JD-KS25	19,950円（税抜価格19,000円）
	JD-KS28	19,950円（税抜価格19,000円）

種類	部品コード	流通コード	希望小売価格
延長コード（モジュラープラグ付き）			
5ｍ（２芯）（白）	QCNWG0121AFSA	142 512 0331	535円（税抜価格510円）
10ｍ（２芯）（白）	QCNWG0122AFSA	142 512 0332	819円（税抜価格780円）

＜お知らせ＞

● 希望小売価格は2009年8月現在のものです。

登録や設定・電話帳の内容を初期化する

登録・設定した内容を工場出荷時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

本機を廃棄、譲渡などするときは

お客様の個人情報流出による被害を防ぐために、本体の「データ消去」と子機の「登録初期化」の操作を行って、本機に記録したデータを消去することをおすすめします。
本体のデータは、「本体初期化」で一括して消去することもできます。

■ 本体の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（本体初期化）

本体初期化をすると登録・設定した内容の他に、留守録などの録音、ファクス受信データ、内部メモリーの写真データがすべて工場出荷時の内容に戻ります（消去されます）。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪データ管理≫ をタッチする
④［本体初期化］→［はい］の順にタッチする

■ 内部メモリーのファイルをすべて消去する（データ消去）

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ → 次ページキー（ ）→［データ消去］の順にタッチする
③ 消去したいデータを選ぶ
［電話帳］［受信ファクス］［メッセージデータ］［着信記録／再ダイヤル］［お断り番号］［内部メモリーフォトデータ］が選べます。
④［消去］→［はい］の順にタッチする

■ 設定の内容だけを工場出荷時に戻す（設定リセット）

各設定を工場出荷時に戻します。電話帳、メッセージなどの録音、ファクス受信データ、内部メモリーの写真データはそのまま残ります。

① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪データ管理≫ をタッチする
④［設定リセット］→［はい］の順にタッチする

■ 電話帳以外の子機の登録内容を、お買いあげ時の状態にする

① 子機の を押す
② で［システム設定］を選び、 を押す
③ で［登録初期化］を選び、 を押す
④ で［電話帳以外］を選び、を２回押す

■ 子機を工場出荷時に戻す（登録初期化）

① 子機の を押す
② で［システム設定］を選び、を押す
③ で［登録初期化］を選び、を押す
④ で［全ての登録］を選び、を２回押す

■ 子機の電話帳をすべて消去する

① 子機の を押す
② で［全消去］を選び、 を押す
③ で［電話帳］を選び、 を2回押す

＜お知らせ＞

● 本体初期化や設定リセットをしたあと自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。

特別設定について

状況に応じて、次の項目を本体で設定することができます。

■ 応答メッセージ待ち時間
留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間の設定ができます。
工場出荷時の設定は［4秒］です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪留守関連≫ をタッチする
④ 応答メッセージ待ち時間の［1秒］［2秒］［4秒］［8秒］から設定したい内容を選ぶ

■ 発信音待ち時間
留守番電話の応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間の設定ができます。
工場出荷時の設定は［4秒］です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪留守関連≫ をタッチする
④ 発信音待ち時間の［1秒］［2秒］［4秒］［8秒］から設定したい内容を選ぶ

■ お声拝聴
留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は［あり］です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪留守関連≫ → 次ページキー（ ＞ ）の順にタッチする
④ お声拝聴の［あり］［なし］から設定したい内容を選ぶ

■ 録音時間
留守録の録音時間を設定することができます。
工場出荷時の設定は［30秒］です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪留守関連≫ → 次ページキー（ ＞ ）の順にタッチする
④ 録音時間の［30秒］［1分］［2分］から設定したい内容を選ぶ

■ 戻って録音時間（☞67ページ）

■ 子機送話音量を調整する
子機でこちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。
本体で操作します。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪音関連≫ をタッチする
④ 子機送話音量切替の［小］［標準］［大］から設定したい内容を選ぶ

■ 子機受話音量を調整する
本体の回線によっては、子機の受話音量が小さくなることがあります。子機で相手の方の声が聞こえにくいときに、本体で音量を切り替えることができます。子機で通話中に受話音量を変えることもできます（☞58ページ）
本体で操作します。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪音関連≫ をタッチする
④ 子機受話音量切替の［小］［標準］［大］から設定したい内容を選ぶ

■ 子機受話音質を調整する
すべての子機の受話音質を調整できます。使用中の子機のみ変更したいときは、「通話音質を変える」（☞58ページ）をご覧ください。
本体で操作します。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪音関連≫ をタッチする
④ 子機受話音質切替の［低い］［標準］［高い］から設定したい内容を選ぶ

■ キータッチ音
本体の画面をタッチしたときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。
工場出荷時の設定は［あり］です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、［設定］をタッチする
② ≪一般設定≫ →［特別設定］の順にタッチする
③ ≪音関連≫ をタッチする
④ キータッチ音の［あり］［なし］から設定したい内容を選ぶ

■ ナンバー・ディスプレイ（☞74ページ）

■ キャッチホン・ディスプレイ（☞72ページ）

■ キャッチホン切替時間

キャッチ/文字切替ボタンを押したときに回線を開放する時間を設定できます。交換機の種類などによっては、キャッチ/文字切替ボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。
工場出荷時の設定は〔0.8秒〕です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ →〔特別設定〕の順にタッチする
③ ≪電話／ファクス≫ をタッチする
④ キャッチホン切替時間の〔0.4秒〕〔0.6秒〕〔0.8秒〕から設定したい内容を選ぶ

■ 子機増設（☞73ページ）

■ 回避チャンネル設定

他の電化製品（無線LANなど）の電波干渉などによって、通話に雑音が入るときは、設定を変更すると改善されることがあります。
他の電化製品（無線LANなど）が使用しているチャンネルを設定してください。設定したチャンネルを回避します。
工場出荷時の設定は〔チャンネル6〕です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ →〔特別設定〕の順にタッチする
③ ≪電話／ファクス≫ → 次ページキー（ ⊳ ）の順にタッチする
④ 回避チャンネル設定の〔チャンネル1〕〔チャンネル6〕〔チャンネル11〕から設定したい内容を選ぶ
・無線LANを使用している場合、無線LANが使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。

■ ファクスおまかせ受信

相手の方が自動送信の場合（「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます）、子機を取ると自動的にファクス受信に切り替える機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は〔あり〕です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ →〔特別設定〕の順にタッチする
③ ≪電話／ファクス≫ → 次ページキー（ ⊳ ）の順にタッチする
④ ファクスおまかせ受信の〔あり〕〔なし〕から設定したい内容を選ぶ

■ 時計バックアップ

停電などで本体の日時登録が消えたときに、子機の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったり、子機の日時登録が消えたときに、本体の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったりする機能の設定ができます。本体や子機の日時が登録されていないときや、本体の電波範囲内に子機がないときは、日時を転送できません。
工場出荷時の設定は〔使用する〕です。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ →〔特別設定〕の順にタッチする
③ ≪時計機能≫ をタッチする
④ 時計バックアップの〔使用する〕〔使用しない〕から設定したい内容を選ぶ

■ 本体に登録されている日付や時刻を子機に転送する（子機へ時計送信）

本体で操作します。
本体の日時が登録されていないときは、転送できません。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ →〔特別設定〕の順にタッチする
③ ≪時計機能≫ をタッチする
④〔子機へ時計送信〕をタッチする
・子機が2つ以上あるときは、子機番号の1から順番に転送します。
・対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。

■ 子機に登録されている日付や時刻を本体に転送する（子機から時計受信）

本体で操作します。
子機の日時が登録されていないときは、転送できません。
① 画面をタッチしてホームメニューにし、〔設定〕をタッチする
② ≪一般設定≫ →〔特別設定〕の順にタッチする
③ ≪時計機能≫ をタッチする
④〔子機から時計受信〕をタッチする
・本体に日付や時刻を転送する子機は、子機番号の1です。ただし、子機1が使用範囲外にあるなど、転送できない場合は、子機2から転送されます。すべての子機が転送できないときは、転送せずに終了します。

■ ソフトウェア更新

ソフトウェアの更新については、詳しくは当社のホームページでご確認ください。

■ 設定リセット（☞97ページ）

■ 本体初期化（☞97ページ）

区点コード一覧表

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。（子機のみ）

区点1〜3桁目	区点4桁目 0123456789
010	(スペース)、。，．・：；？
011	！゛゜´｀¨＾￣＿ヽ
012	ヾゝゞ〃仝々〆〇ー―
013	‐／＼～∥｜…‥‘’
014	“”（）〔〕［］｛｝
015	〈〉《》「」『』【】
016	＋－±×÷＝≠＜＞≦
017	≧∞∴♂♀°′″℃￥
018	＄￠￡％＃＆＊＠§☆
019	★○●◎◇
020	◆□■△▲▽▼※〒
021	→←↑↓〓
022	∈∋⊆⊇
023	⊂⊃∪∩
024	∧∨￢⇒⇔∀∃
025	
026	∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√
027	∽∝∵∫∬
028	Å‰♯♭♪†‡¶
029	◯
030	
031	０１２３
032	４５６７８９
033	ＡＢＣＤＥＦＧ
034	ＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱ
035	ＲＳＴＵＶＷＸＹＺ
036	ａｂｃｄｅ
037	ｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏ
038	ｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙ
039	ｚ
040	ぁあぃいぅうぇえぉ
041	おかがきぎくぐけげこ
042	ごさざしじすずせぜそ
043	ぞただちぢっつづてで
044	とどなにぬねのはばぱ
045	ひびぴふぶぷへべぺほ
046	ぼぽまみむめもゃやゅ
047	ゆょよらりるれろゎわ
048	ゐゑをん
049	
050	ァアィイゥウェエォ
051	オカガキギクグケゲコ
052	ゴサザシジスズセゼソ
053	ゾタダチヂッツヅテデ
054	トドナニヌネノハバパ
055	ヒビピフブプヘベペホ
056	ボポマミムメモャヤュ
057	ユョヨラリルレロヮワ
058	ヰヱヲンヴヵヶ
059	
060	ΑΒΓΔΕΖΗΘΙ
061	ΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤ
062	ΥΦΧΨΩ
063	αβγδεζη
064	θικλμνξοπρ
065	στυφχψω
070	АБВГДЕЁЖЗ
071	ИЙКЛМНОПРС
072	ТУФХЦЧШЩЪЫ
073	ЬЭЮЯ
074	а
075	бвгдеёжзий
076	клмнопрсту
077	фхцчшщъыьэ
078	юя
079	
080	─│┌┐┘└├┬┤
081	┴┼━┃┏┓┛┗┣┳
082	┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰
083	┥┸╂
	−−あ−−
160	亜唖娃阿哀愛挨姶逢
161	葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵
162	梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾
163	鮎或粟袷安庵按暗案闇
164	鞍杏
	−−い−−
164	以伊位依偉囲夷委
165	威尉惟意慰易椅為畏異
166	移維緯胃萎衣謂違遺医
167	井亥域育郁磯一壱溢逸
168	稲茨芋鰯允印咽員因姻
169	引飲淫胤蔭
170	院陰隠韻吋
	−−う−−
170	右宇烏羽
171	迂雨卯鵜窺丑碓臼渦嘘
172	唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂
173	云運雲
	−−え−−
173	荏餌叡営嬰影映
174	曳栄永泳洩瑛盈穎頴英
175	衛詠鋭液疫益駅悦謁越
176	閲榎厭円園堰奄宴延怨
177	掩援沿演炎焔煙燕猿縁
178	艶苑薗遠鉛鴛塩
	−−お−−
178	於汚甥
179	凹央奥往応
180	押旺横欧殴王翁襖鴬
181	鴎黄岡沖荻億屋憶臆桶
182	牡乙俺卸恩温穏音
	−−か−−
182	下化
183	仮何伽価佳加可嘉夏嫁
184	家寡科暇果架歌河火珂
185	禍禾稼箇花苛茄荷華菓
186	蝦課嘩貨迦過霞蚊俄峨
187	我牙画臥芽蛾賀雅餓駕
188	介会解回塊壊廻快怪悔
189	恢懐戒拐改
190	魁晦械海灰界皆絵芥
191	蟹開階貝凱劾外咳害崖
192	慨概涯碍蓋街該鎧骸浬
193	馨蛙垣柿蛎鈎劃嚇各廓
194	拡撹格核殻獲確穫覚角
195	赫較郭閣隔革学岳楽額
196	顎掛笠樫橿梶鰍潟割喝
197	恰括活渇滑葛褐轄且鰹
198	叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌
199	噛鴨栢茅萱
200	粥刈苅瓦乾侃冠寒刊
201	勘勧巻喚堪姦完官寛干
202	幹患感慣憾換敢柑桓棺
203	款歓汗漢澗潅環甘監看
204	竿管簡緩缶翰肝艦莞観
205	諌貫還鑑間閑関陥韓館
206	舘丸含岸巌玩癌眼岩翫
207	贋雁頑顔願
	−−き−−
207	企伎危喜器
208	基奇嬉寄岐希幾忌揮机
209	旗既期棋棄
210	機帰毅気汽畿祈季稀
211	紀徽規記貴起軌輝飢騎
212	鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺
213	犠疑祇義蟻誼議掬菊鞠
214	吉吃喫桔橘詰砧杵黍却
215	客脚虐逆丘久仇休及吸
216	宮弓急救朽求汲泣灸球
217	究窮笈級糾給旧牛去居
218	巨拒拠挙渠虚許距鋸漁
219	禦魚亨享京
220	供侠僑兇競共凶協匡
221	卿叫喬境峡強彊怯恐恭
222	挟教橋況狂狭矯胸脅興
223	蕎郷鏡響饗驚仰凝尭暁
224	業局曲極玉桐粁僅勤均
225	巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊
226	芹菌衿襟謹近金吟銀
	−−く−−
226	九
227	倶句区狗玖矩苦躯駆駈
228	駒具愚虞喰空偶寓遇隅
229	串櫛釧屑屈
230	掘窟沓靴轡窪熊隈粂
231	栗繰桑鍬勲君薫訓群軍
232	郡
	−−け−−
232	卦袈祁係傾刑兄啓圭
233	珪型契形径恵慶慧憩掲
234	携敬景桂渓畦稽系経継
235	繋罫茎荊蛍計詣警軽頚
236	鶏芸迎鯨劇戟撃激隙桁
237	傑欠決潔穴結血訣月件
238	倹倦健兼券剣喧圏堅嫌
239	建憲懸拳捲
240	検権牽犬献研硯絹県
241	肩見謙賢軒遣鍵険顕験
242	鹸元原厳幻弦減源玄現
243	絃舷言諺限
	−−こ−−
243	乎個古呼固
244	姑孤己庫弧戸故枯湖狐
245	糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇
246	顧鼓五互伍午呉吾娯後
247	御悟梧檎瑚碁語誤護醐
248	乞鯉交佼侯候倖光公功
249	効勾厚口向
250	后喉坑垢好孔孝宏工
251	巧巷幸広庚康弘恒慌抗
252	拘控攻昂晃更杭校梗構
253	江洪浩港溝甲皇硬稿糠
254	紅紘絞綱耕考肯肱腔膏
255	航荒行衡講貢購郊酵鉱
256	砿鋼閤降項香高鴻剛劫
257	号合壕拷濠豪轟麹克刻
258	告国穀酷鵠黒獄漉腰甑
259	忽惚骨狛込
260	此頃今困坤墾婚恨懇
261	昏昆根梱混痕紺艮魂
	−−さ−−
261	些
262	佐叉唆嵯左差査沙瑳砂
263	詐鎖裟坐座挫債催再最
264	哉塞妻宰彩才採栽歳済
265	災采犀砕砦祭斎細菜裁
266	載際剤在材罪財冴坂阪
267	堺榊肴咲崎埼碕鷺作削
268	咋搾昨朔柵窄策索錯桜
269	鮭笹匙冊刷
270	察拶撮擦札殺薩雑皐
271	鯖捌錆鮫皿晒三傘参山
272	惨撒散桟燦珊産算纂蚕
273	讃賛酸餐斬暫残
	−−し−−
273	仕仔伺
274	使刺司史嗣四士始姉姿
275	子屍市師志思指支孜斯
276	施旨枝止死氏獅祉私糸
277	紙紫肢脂至視詞詩試誌
278	諮資賜雌飼歯事似侍児
279	字寺慈持時
280	次滋治爾璽痔磁示而
281	耳自蒔辞汐鹿式識鴫竺
282	軸宍雫七叱執失嫉室悉
283	湿漆疾質実蔀篠偲柴芝
284	屡蕊縞舎写射捨赦斜煮
285	社紗者謝車遮蛇邪借勺
286	尺杓灼爵酌釈錫若寂弱
287	惹主取守手朱殊狩珠種
288	腫趣酒首儒受呪寿授樹
289	綬需囚収周
290	宗就州修愁拾洲秀秋
291	終繍習臭舟蒐衆襲讐蹴
292	輯週酋酬集醜什住充十
293	従戎柔汁渋獣縦重銃叔
294	夙宿淑祝縮粛塾熟出術
295	述俊峻春瞬竣舜駿准循
296	旬楯殉淳準潤盾純巡遵
297	醇順処初所暑曙渚庶緒
298	署書薯藷諸助叙女序徐
299	恕鋤除傷償
300	勝匠升召哨商唱嘗奨
301	妾娼宵将小少尚庄床廠
302	彰承抄招掌捷昇昌昭晶
303	松梢樟樵沼消渉湘焼焦
304	照症省硝礁祥称章笑粧
305	紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔
306	詳象賞醤鉦鍾鐘障鞘上
307	丈丞乗冗剰城場壌嬢常
308	情擾条杖浄状畳穣蒸譲
309	醸錠嘱埴飾
310	拭植殖燭織職色触食
311	蝕辱尻伸信侵唇娠寝審
312	心慎振新晋森榛浸深申
313	疹真神秦紳臣芯薪親診
314	身辛進針震人仁刃塵壬
315	尋甚尽腎訊迅陣靭
	−−す−−
315	笥諏
316	須酢図厨逗吹垂帥推水
317	炊睡粋翠衰遂酔錐錘随
318	瑞髄崇嵩数枢趨雛据杉
319	椙菅頗雀裾
320	澄摺寸
	−−せ−−
320	世瀬畝是凄制
321	勢姓征性成政整星晴棲
322	栖正清牲生盛精聖声製
323	西誠誓請逝醒青静斉税
324	脆隻席惜戚斥昔析石積
325	籍績脊責赤跡蹟碩切拙
326	接摂折設窃節説雪絶舌
327	蝉仙先千占宣専尖川戦
328	扇撰栓栴泉浅洗染潜煎
329	煽旋穿箭線
330	繊羨腺舛船薦詮賎践
331	選遷銭銑閃鮮前善漸然
332	全禅繕膳糎
	−−そ−−
332	噌塑岨措曾
333	曽楚狙疏疎礎祖租粗素
334	組蘇訴阻遡鼠僧創双叢
335	倉喪壮奏爽宋層匝惣想
336	捜掃挿掻操早曹巣槍槽
337	漕燥争痩相窓糟総綜聡
338	草荘葬蒼藻装走送遭鎗
339	霜騒像増憎
340	臓蔵贈造促側則即息
341	捉束測足速俗属賊族続
342	卒袖其揃存孫尊損村遜
	−−た−−
343	他多太汰詑唾堕妥惰打
344	柁舵楕陀駄騨体堆対耐

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ーーちーー									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	ーーつーー									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	ーーてーー									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	ーーとーー									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	ーーなーー									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	ーーにーー									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ーーぬ～のーー									
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	ーーはーー									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ーーひーー									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ーーふーー									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	ーーへーー									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ーーほーー									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ーーまーー									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	ーーみーー									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	ーーむーー									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	ーーめーー									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	ーーもーー									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	ーーやーー									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ーーゆーー									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	ーーよーー									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ーーらーー									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	ーーりーー									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	ーーる～れーー									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ーーろーー									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	ーーわーー									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ 本体

形名	JD-7C1CL／JD-7C1CW
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線、Fネット（16Hz対応のみ）
表示装置	7インチWVGAカラーTFT液晶ディスプレイ(800 × 480ドット）＊1 タッチパネル（シングルタッチ方式）
メモリーカードスロット	SD／SDHC／MS／MS-PRO兼用1スロット
赤外線通信	高速赤外線通信（IrSS™）

■ コードレス部（子機）

充電完了時間	約10時間
使用可能時間（充電完了後）	待受時：約200時間＊2 通話時：最大約6時間＊3
表示装置	液晶ディスプレイ 漢字3行＋ピクト
増設可能子機	JD-KS11,JD-KS15,JD-KS17,JD-KS21,JD-KS25,JD-KS28

■ 電話部

	本体	子機
ダイヤル形式	ボタン式パルスダイヤル／ボタン式トーンダイヤル	
選択信号種別	DP信号（10PPS／20PPS）／PB信号（DTMF）	
呼び出し方式	—	トーンリンガー（着信音） 呼び出し／（音量切替式）
電話帳の件数	100人分 （32桁以内）×1番号	100人分 （24桁以内）×1番号
再ダイヤルの記憶件数	20件	10件

■ デジタルフォトフレーム部

内部メモリー	128MB
対応ファイル	JPEG（Exif規格）

■ ファクス部

圧縮方式	MH・MMR・独自圧縮
通信モード	G3・ECM ＊4
通信速度	14400／12000／9600／7200／4800／2400 bit/s ：自動フォールバック
中間調伝送	有り（64階調）
受信メモリー	A4標準原稿 約99枚

■ メモリーカード

対応カード種類	SDメモリーカード、miniSDカード ＊5、 microSDカード ＊5、 SDHC メモリーカード miniSDHC メモリーカード ＊5、 microSDHC メモリーカード ＊5、 メモリースティック メモリースティック Duo ＊5、 メモリースティック マイクロ ＊5、 メモリースティック PRO、 メモリースティック PRO Duo ＊5、 メモリースティック PRO-HG Duo ＊5

■ 留守録部

用件録音時間	最大約15分、または30件

■ 共通部

	本体	子機	充電器
寸法	約216（幅）× 約109（奥行）× 約144（高さ）mm 突起部を除く	約48（幅）×約31（奥行）×約177（高さ）mm	約93（幅）×約76（奥行）×約27（高さ）mm
質量	約 540g （ACアダプター含まず）	約150g 充電池含む	約130g
電源	AC100V±10V 50／60Hz（ACアダプターを使用）	DC3.6V、600mAh （ニッケル水素電池）＊6	入力：AC100V±10V 50／60Hz
消費電力（100VAC）	約2.4W（待機時）＊7 約5.5W（動作時最大）	約0.6W（子機を充電器に乗せた状態での待機時） 約0.9W（急速充電中）	
直流抵抗	174Ω	―	―
静電容量	1.0μF以下	―	―
使用環境	温度 5℃～35℃ 相対湿度 30％～85％RH		

＊1 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
＊2 待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
＊3「電波サポート」を〔設定〕にした場合は、子機の連続通話時間が最大約4時間になります。また、〔自動〕にした場合は、最大約4～6時間になります。
＊4 本機で送受信できるのは、相手機もG3規格のファクシミリに限られます（カラーの送受信はできません）。
＊5 本機で使用するときは、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。
＊6 充電池はリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済み電池につきましては、お買いあげの販売店までご持参いただき、リサイクルの推進にご協力をお願いします。
＊7 バックライトおよび液晶ディスプレイ消灯時。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（☞114～115ページ）

● 保証期間は、お買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、インテリアホンの補修用性能部品を製品の製造打切後、７年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、シャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

●「こまったときは」（☞82～95ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず差し込みプラグを抜いて充電池をはずしてから、シャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）にご連絡ください

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って当社が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

愛情点検

長年ご使用のインテリアホンの点検を！

このような症状はありませんか？

●ACアダプター、ACコードが異常に熱い
●コゲくさい臭いがする
●ACアダプター、ACコードに深いキズや変形がある
●その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、差し込みプラグをコンセントから抜き、必ずシャープお客様ご相談窓口（☞106ページ）にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」および、万一、製品による事故が発生した場合は、下記窓口にお問い合わせください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
お電話では、次の内容をお知らせください。
・「品名（インテリアホン）」、「形名（JD-7C1CLまたはJD-7C1CW）」
・必要に応じて、本機の使用環境をお尋ねします。（例：お使いの電話回線の回線種別、IP電話やひかり電話などをお使いかどうか、NTTのナンバー・ディスプレイをご契約されているかどうか）
ファクス送信される場合は、製品の品名、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン

シャープ　お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談

【お客様相談センター】

0120 - 663 - 700
携帯·PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜：9:00～18:00
●日曜・祝日：9:00～17:00
（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：　043 - 351 - 1822	FAX：　043 - 299 - 8280
西日本相談室	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：　06 - 6792 - 1583	FAX：　06 - 6792 - 5993

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2009.8）

さくいん

【た】

【な】

【は】

【ま】

【や】

【ら】

【わ】

本機の使用周波数に関わるご注意

切り取って、本体や充電器の近くに貼ってお使いください。

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など

●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）

●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

●アマチュア無線局（免許を要する無線局）

・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン

シャープ　お問い合わせ　検 索

http://www.sharp.co.jp/support/

こんなときは、取扱説明書で再度ご確認ください。

- お買いあげ後の接続や設定のしかた（☞15ページ）
- 電話がかからないときは（回線種別の設定 ☞19ページ）
- ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先
  NTT窓口　TEL：局番なしの 116 （通話料金無料）
- 電話帳に登録するときは（☞24ページ）

取扱説明書をご確認いただいても解決しないときは、106ページをご覧いただき、お客様相談センターへご連絡ください。

シャープ株式会社

本社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

パーソナルソリューション事業推進本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

Printed in Malaysia

JD-7C1CL/JD-7C1CW　09L②　TINSJ4703XHTA